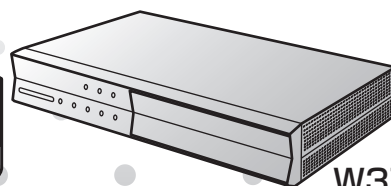
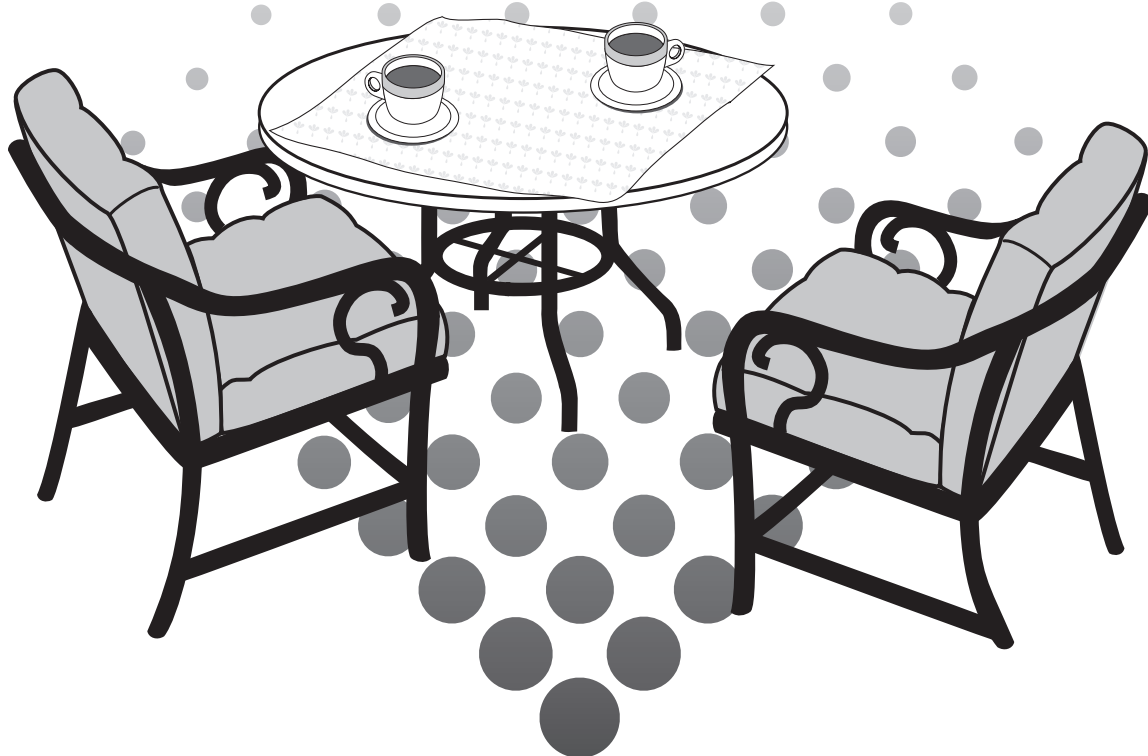
HITACHI

日立BS・110度CSデジタルハイビジョンプラズマテレビ

取扱説明書

形名

W37-PDH1

W37-PDH1(M)

W37-PDH1(A)

このたびは日立BS・110度CSデジタルハイビジョンプラズマテレビをお求めいただき、まことにありがとうございました。

日立BS・110度CSデジタルハイビジョンプラズマテレビは下記の構成になっています。

セット形名	構成内容		
	プラズマテレビモニター部	AVCステーション部	スピーカーシステム
W37-PDH1	W37-PDH1(M)	W37-PDH1(A)	37SP1

ご購入の際は、それぞれが別々の梱包となっております。ご確認願います。

「使用上のご注意」をお読みください。本体の取扱いは、この「取扱説明書」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。
お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

TruBassとTruSurround DIGITAL5.1CHは、SRS Labs, Inc.の商標です。
TruBassとTruSurround DIGITAL5.1CH技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

高精細ハイビジョン表示及び現行放送を高密度処理でハイビジョンと同じ走査線数に変換

1024プログレッシブ処理 ＆1024インターレース走査

BSデジタル放送と、110度CSデジタル放送の鮮やかな高画質映像と多機能サービスが楽しめる

BS・110度CS デジタルハイビジョン チューナー内蔵

豊かで深みのある低音が楽しめる新技術

TruBass™ by SRS(●)® ※

※ TruBass by SRS(●) はSRS Labs, Inc.の商標です。

BS・110度CSデジタル放送の立体音場を再現できる

TruSurround DIGITAL 5.1CH by SRS(●) ※

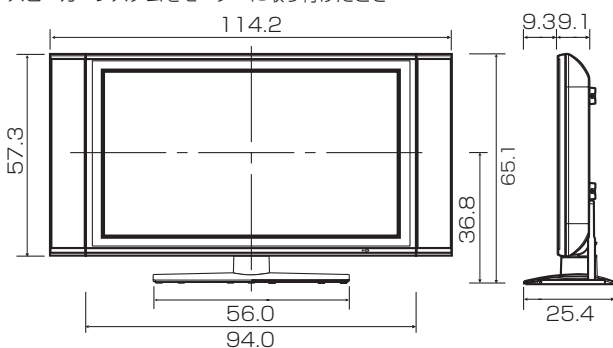
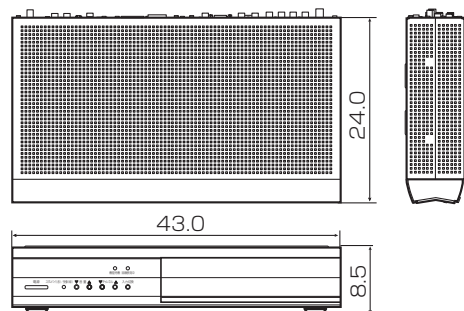
※ TruSurround DIGITAL 5.1CH by SRS(●) はSRS Labs, Inc.の商標です。

AVCステーション部とモニター部を分離
壁掛け設置も可能

薄形軽量設置フリー

SDメモリーカード スロット装備

モニター寸法図(cm)

スピーカーシステムをモニターに取り付けたとき

AVCステーション寸法図(cm)

商標について

●i.LINKとi.LINKロゴ"i."は、ソニー株式会社の商標です。
●D-VHSは、日本ビクター株式会社の登録商標です。
●SDロゴは商標です。

この説明書は、ほとんどが1ページまたは2ページの見開きで見るようになっています。
（※違うパターンもありますが、基本的には同じ説明方法です。）

お守りください
操作上、守っていただきたいことを記載

⚠注意
安全上、守っていただきたいことを記載

お知らせ
操作上、知っておいていただきたいことを記載

タイトル

本体部

カーソルボタン

手順の説明

参照ページの記号

リモコン

カーソルボタンの記号
- 上下左右いずれかの操作
- 上下方向の操作
- 左右方向の操作

メ モ
知っていると便利な操作・解説

イラストからの引出番号は操作する順番です

はじめに

基本の使いかた

映像・音声の設定

多機能の使いかた

BS・CSデジタル放送の楽しみかた

設　置

ご　参　考

ご使用のまえにこの「使用上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

絵表示について　製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

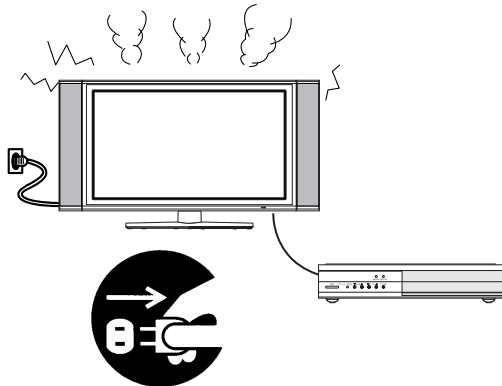
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害を発生する可能性があります。

絵表示の意味

- ⚠ 気をつけなければならない。「注意」を示します。
- ⚠ 感電に気をつけなければならない。「感電注意」を示します。
- ⊘ してはいけない。「禁止」を示します。
- ❗ 必ず行う。「強制」を示します。

安全上のご注意

⚠警告

■異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜くこと

異常、故障状態とは

- **煙が出ている、へんな臭いや音がする**
- **画が乱れる・映らない、音がでない**
- **本機の内部に異物(水、金属など)が入った**

など

異常、故障状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。

すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

●イラストはイメージであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

設置をするとき

⚠警告

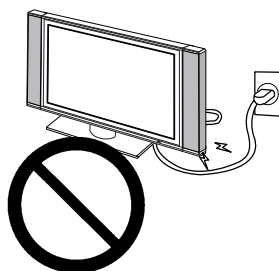
■ 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

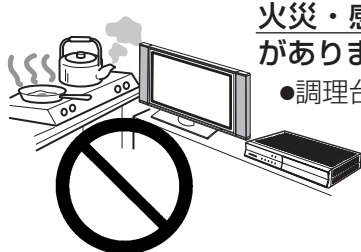
■ 持ち運ぶときは衝撃を与えない、本機を落とさない

破損したまま使用すると、火災・感電・けがの原因となります。

- プラズマディスプレイパネルはガラスでできていますので、万一割れたりするとケガの原因となります。

■ 電源コードを本機の下敷にしない

コードに傷がついて火災・感電の原因となります。

⚠注意

■ 湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たる場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

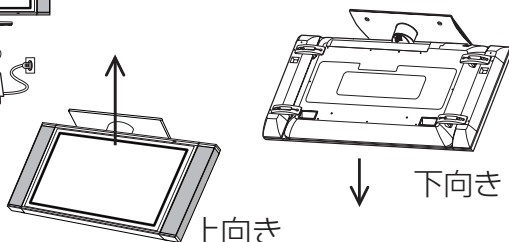
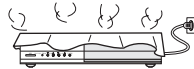
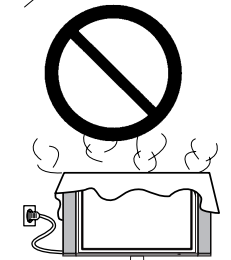
- 調理台や加湿器のそばなど。

■ 通風孔をふさがない

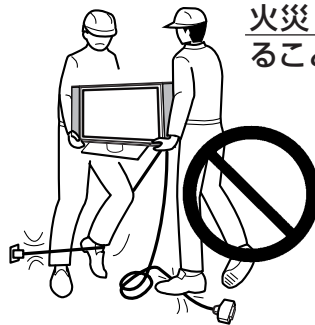
火災の原因となることがあります。

通風孔を壁から10cm以上離して据えつけてください。（モニターを壁掛け設置する場合は除く）

特につぎのような使い方はしないでください。

- 本機をあお向けや横倒し、逆さまにする。
- 風通しの悪い狭い所に置く。
- じゅうたんや布団の上に置く。
- テーブルクロスなどを掛ける。

■ 電源プラグをすぐに抜くことができるように本機を据え付ける

本機が異常や故障となったとき、電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと火災・感電の原因となることがあります。

■ 電源プラグ、アンテナ線などの外部の接続線や転倒防止の処置をしたまま移動させない

火災・感電・けがの原因となることがあります。

■ キャスター（車）止めをする

テレビ台にキャスター（車）がついている場合は、キャスター止めをする。

テレビが動いたり、倒れたりするとけがの原因となることがあります。

設置をするとき（つづき）

⚠注意

■転倒防止の処置を行う

モニターが倒れると、けがの原因となることがあります。

■アンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください

●送配電線から離れた場所に設置する。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
●特にBS、CS放送受信用アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取りつける。

使用するとき

⚠警告

■本機の上に花びんなどを置かない

水ぬれ禁止

本機の内部に水などが入ると火災・感電の原因となります。

万一、入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
●花びん、水槽、植木鉢、コップ、化粧品、薬品などを置かない。
●ペットが乗らない様、ご注意ください。

■本機に水をこぼしたり、ぬらしたりしない

水ぬれ禁止

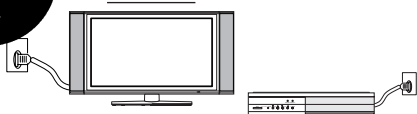
火災・感電の原因となります。
●雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

■風呂場やシャワー室で使用しない

風呂場やシャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

■指定の電源電圧で使用する

本体に表示された電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。

■雷が鳴り出したら、アンテナ線や本機には触れない

接触禁止

感電の原因となります。

■異物を入れない

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりすると、火災・感電の原因となります。

万一、入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
特にお子様にはご注意ください。

■裏ぶたやカバーをはずさない、本機を改造しない

分解禁止

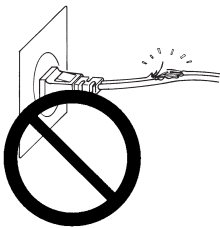
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

■電源プラグの刃や周辺に付着した埃や金属類を取り除く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

お手入れは、電源プラグを抜いてから乾いた布で行ってください。

■電源コードを傷つけない

火災・感電の原因となります。

傷ついたら、電源プラグを抜いて販売店に交換をご依頼ください。
●傷つける、破損させる、加工する、無理に曲げる、重いものをのせる、加熱する、引っ張るなどをしない。

⚠警告

■衝撃を与えない

万一、本機を落したり、キャビネットを破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠注意

■電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱し火災の原因となることがあります。
また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

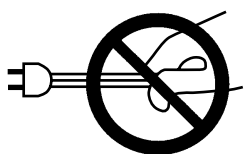
■電源プラグは、ゆるみのあるコンセントに差し込まない

発熱して火災の原因となることがあります。
ゆるみのある場合は、販売店に交換をご依頼ください。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

電源コードを引っ張ると電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

■スイーベル回転範囲内に物を置いたり操作中に顔や手などを入れない

ものが倒れて壊れたり、けがの原因となることがあります。

■本機に乗ったり、ぶら下がったりしない

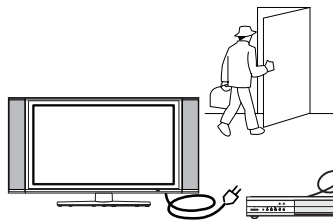
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■本機の上に重いものを置かない

倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

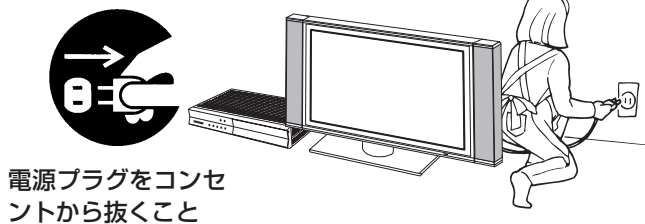
■間違った電池の使い方をしない

電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
特に、次の使い方はしない。
- 本機で指定されていない電池の使用
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用
- 本機の極性表示（プラスとマイナスの向き）とは逆向きに電池を使用

■長期間ご使用にならないときは必ず電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜くこと

お手入れするとき

⚠注意

■お手入れの際は、安全のため電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜くこと

■年に一度は内部の掃除を販売店にご相談ください

本機の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部の掃除費用については販売店にご相談ください。

お守りください

■高温になるところに置かないでください

キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。
●直射日光や熱器具の近くなど。

■お部屋は適度の明るさで

暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。

■長時間連続して画面を見ていると目が疲れます

時々、画面から離れて目を休めてください。

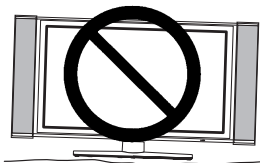
■適度な音量で

特に夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを利用したりして、隣り近所に対し十分の配慮をして、生活環境を守りましょう。

■本機および本機の破片、付属品を廃棄するときは

本機および本機の破片、付属品などを廃棄する際は、必ず、販売店にご相談ください。

■プラズマテレビモニターの設置について

傾斜面や、平坦でない面、カーペットなどの柔らかい面、変形した面などへの設置をさけてください。リモコンによるスイーベル動作が不安定になる場合があります。

■パネルのお手入れについて

本機のパネル表面は、柔らかい布（綿・ネル等）で軽く乾拭きしてください。
硬い布で拭いたり、強く擦ったりしますと、パネルの表面が傷付きますのでご注意ください。

指紋など油脂類の汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布をひたし絞ってふき取ってから、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

■キャビネットのお手入れについて

●キャビネットの表面をベンジン、シンナーなどでふいたり、殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。
変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
●キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには、水で薄めた中性洗剤に布をひたしよく絞ってからふき取り、乾いた布で仕上げてください。
特に、次の洗剤などは塗装を傷めますので使用しないでください。
・アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹸、カーワックス類など

■搬送についてのご注意

●引越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱とクッション材をご使用ください。

お知らせ

■電話回線の接続が必要です

BSデジタル放送および110度CSデジタル放送では、電話回線を使って視聴記録データの送信や視聴者参加番組への参加などができるシステムを採用しています。本機にはNTTの2線式公衆電話回線で、プッシュ式またはダイヤル式（10 PPS/20 PPS)の電話機に接続の電話線を分配して接続してください。また、接続した電話回線は異常が発生しない限り、取り外さないでください。不特定多数の人が利用する公衆電話や共同電話、および2線式電話回線と接続しない電話機（携帯電話、PHSなど）では利用できない場合があります。

■本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください

本機の受信周波数帯域（1032MHz～2072MHz）に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。
また、アンテナの接続時にアンテナケーブルや分配器、分波器などの機器を使用する場合は、共聴用のものをご使用ください。

■本機の電源プラグは常時コンセントに接続しておいてください

長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は、AVCステーションの電源プラグをコンセントから抜いたままにしないでください。本機は電源オフ（モニター主電源オフ／スタンバイ／機能待機）状態でも、自動的にBSデジタル放送および110度CSデジタル放送の情報を受信したり、視聴記録の送信を行ったりする場合があります。

■天候不良によっては、画質、音質が悪くなる場合があります

雨の影響により衛星からの電波が弱くなっている場合は、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えます。（降雨対応放送が行われている場合）降雨対応放送に切り換わったときは、画面にメッセージが表示されます。
降雨対応放送では、画質や音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合があります。

■視聴記録の送信について

B-CASカードに記録される視聴記録データは、定期的に電話回線を通じ（株）B-CAS〔(株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ〕へ自動送信されます。データ送信の電話料金は無料ですが、データ送信中は、同じ回線に接続の電話機は使用できません。

■操作できなくなった場合は

受信異常などにより、本機の操作ができなくなった場合は、AVCステーション本体の電源ボタンを5秒以上押して、機能待機ランプ消灯後、再度電源ボタンを押してください。

■衛星ダウンロードについて

放送運用などに変更が生じた場合、本機のソフトウェアを更新して対応させるために、衛星からダウンロードサービスを行うことがあります。このサービスを受けるには、ご使用にならないときは、リモコンで電源を切った状態にしておくことをお勧めします。

■110度CSデジタル放送をご覧になるには

110度CSデジタル放送に対応したアンテナが必要です。また、ブースターや分配器などをご使用の場合は、2150MHz対応の伝送機器が必要です。詳しくは販売店にご相談ください。

本製品には、ACCESS 社製BS・110度デジタル放送向けブラウザ NetFront for DTV を搭載しています。
Net Front は株式会社ACCESSの日本国における登録商標です。

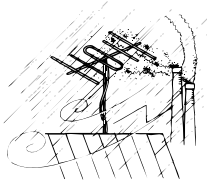
お知らせ（つづき）

■面欠点について
プラズマパネルは、精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に欠点（光らない点）や輝点（余計に光る点）が存在する場合があります。これは故障ではありません。

■残像について
静止画（画面表示、放送局側から送られる時刻表示など）を短時間（約1分程度）表示し、映像内容が変わったときに前の静止画が残像として見えることがありますが、自然に回復します。故障ではありません。

■パネル表面について
プラズマパネルは、パネルの内部で放電を起こすことにより映像を表示しています。そのため、パネルの表面温度が高くなる場合があります。
また、プラズマパネルは、微細加工したガラスです。パネルの前面には強化ガラス製のフィルターを取り付けていますが、ガラスが破損する恐れがありますので強い衝撃は与えないでください。

■輸送時について
本体を横倒しにして輸送した場合、パネルガラスが破損する、または面欠点が増加する可能性がありますので、横倒しでの輸送はしないでください。

■ご覧になる位置は
画面のたての長さの3～7倍を目安にした場所でご覧になれば、見やすくて疲れにくくなります。

■アンテナの点検・交換について
アンテナは風雨にさらされるため、美しい画像でお楽しみ頂くためにも点検・交換することをおすすめします。
特に、煤煙の多い所、潮風にさらされる所では、アンテナが早く傷みますので、映りが悪くなった場合は、販売店にご相談ください。

■ファンモーターについて
本機は、電源を入れるとAVCステーション内部の温度を下げるためにファンモーターの動作音がするときがありますが、故障ではありません。

■本機の温度について
本機のモニターやAVCステーションは、長時間使用したり、密閉されたラックに入れて使用したときなどに、上部が熱くなる場合があります。手で触れると熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。また、熱で変形しやすいもの（オーディオテープ、ビデオテープなど）を上に置かないでください。

■焼き付きについて
静止画（画面表示、放送局から送られる時刻表示など）や、パソコンやゲーム機などの固定映像を長時間または繰り返し表示したり、画面のワイドモードをノーマルモードで長時間ご覧になると、プラズマパネルが焼き付く場合があります。
画面の焼き付きを避けるため、スクリーンセーバーの使用や、ワイドモードはノーマル以外のモードで使用することをおすすめします。
焼き付きが軽度のときは、目立たなくなることがありますが、一度起こった焼き付きは完全には消えません。

留意点

■付属の B-CAS（ビーキャス）カードは、BSデジタル放送および110度CSデジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合は、ただちにB-CAS（ビーキャス）「（株）ビーエス・コンディショナル アクセス システムズ」カスタマーセンターへご連絡ください。お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。

■万一、本機の不具合により録画ができなかった場合の補償についてはご容赦ください。

■あなたがビデオデッキなどで録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

■本機から電話回線などを通じて通信を行なうと、通話料金無料のフリーダイヤルでないかぎり、電話料金はお客様の負担になります。

■本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

■国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。

■この説明書に記載の画面イラストは、実際に表示される画面と異なる場合があります。チャンネル番号、チャンネル名、番組名などを含め、実際に表示される内容については画面でご確認ください。

■本機の仕様および機能などは、ダウンロードなどにより予告なく変更することがあります。

BSデジタル放送および110度CSデジタル放送は、それぞれ東経110度に位置する放送衛星および通信衛星を利用したデジタル放送です。本機では、110度CS対応BSデジタルアンテナを使用することで、両方の放送を受信することができます。これらのデジタル放送では、次のような特長があります。

デジタルハイビジョン放送

デジタルハイビジョンの放送フォーマットは走査線1125本（有効1080本）飛び越し走査の1125i（1080i）と走査線750本（有効720本）順次走査の750p（720p）放送の2種類があり、細部まできれいに表現され、臨場感豊かな映像を楽しめます。また、現行のテレビ放送とほぼ同等の画質のデジタル標準テレビ放送もあります。

多チャンネル放送

デジタル信号圧縮技術により、従来のアナログ放送と比較して多チャンネル放送がおこなえます。デジタルハイビジョン放送やデジタル標準テレビ放送の多チャンネル化のほかに、独立データ放送やデジタルラジオ放送もおこなわれます。

データ放送

文字や静止画によって必要な情報を選んで画面に表示させることができる新しい放送です。テレビ放送やラジオ放送の番組に連動したデータ放送と、独立したデータ放送の2種類のデータ放送があります。データ放送では、電話回線を使用した視聴者参加番組やショッピング、バンキングなどの双方向サービスもあります。

サラウンド・ステレオ

音声信号圧縮技術MPEG-2 AAC 方式の採用により、最大5.1チャンネルのサラウンド音声の番組も放送され、臨場感ある音声をお楽しみいただけます。ただし、5.1チャンネルのサラウンド音声をお楽しみいただくにはAAC方式の光デジタル音声入力に対応したオーディオ機器を接続する必要があります。
[5.1チャンネル：5チャンネルステレオ+低域強調チャンネル]

電子番組ガイド（EPG：Electronic Program Guide）

BSデジタル放送および110度CSデジタル放送では、それぞれの放送に対する約1週間分の番組情報が送られてきます。本機では、この電子番組ガイドを利用し、画面上にそれぞれのデジタル放送の番組表を表示させ、番組表から番組を選んで詳細情報を表示させたり、視聴や録画したい番組を事前に予約したりすることができます。

BSデジタル放送について

BSデジタル放送は、東経110度に位置する放送衛星を利用したデジタル放送です。デジタルハイビジョン放送が中心であり、無料放送が多いのも特長です。（一部有料放送もあります）
基本的に放送事業者ごとの放送となるため、視聴契約や登録が必要な場合は放送事業者ごとに申し込みが必要です。

110度CSデジタル放送について

110度CSデジタル放送は、東経110度に位置する通信衛星を利用したデジタル放送です。BSデジタル放送とは異なり、デジタル標準テレビ放送が中心であり、映画、スポーツ、エンターテイメントなど有料専門チャンネルが多いのが特長です。（一部無料放送もあります）
110度CSデジタル放送では、視聴契約や登録などは個別の放送事業者ではなく、これらの放送事業者が属する放送プラットフォームへ申し込むこととなります。110度CSデジタル放送では、「プラットワン」「スカイパーフェクTV!2(スカパー!2)」の2つのプラットフォームがあります。これらプラットフォームごとに、ネットワークと呼ばれる放送チャンネル群を構成しております。本機では、「BSデジタル放送」「プラットワン」「スカイパーフェクTV!2(スカパー!2)」の切り換えは、リモコンのBS／CS1／CS2ボタンでおこないます。

プラットフォームとは

BSデジタル放送や110度CSデジタル放送では、従来のテレビ放送とは異なり、放送番組を制作・編集する委託放送事業者と、衛星を所有して放送波を送信する受託放送事業者が分離されています。さらに110度CSデジタル放送では、多チャンネル放送サービスを運営するために、多数の委託放送事業者による個々の番組（チャンネル）を統合する機能が必要なことやEPGなどの番組情報提供を含めた放送電波の送出および顧客管理やサービス普及のための広告宣伝のために、これらの業務を委託放送事業者と受託放送事業者の間で受け持つプラットフォーム事業者があります。
110度CSデジタル放送では、「プラットワン」と「スカイパーフェクTV!2(スカパー!2)」の2つのプラットフォーム事業者があり、それぞれのプラットフォームに属する委託放送事業者の顧客管理は各プラットフォームにておこなわれます。個々のチャンネル視聴契約についてもそれぞれのプラットフォームのカスタマーセンターに申し込むことになります。

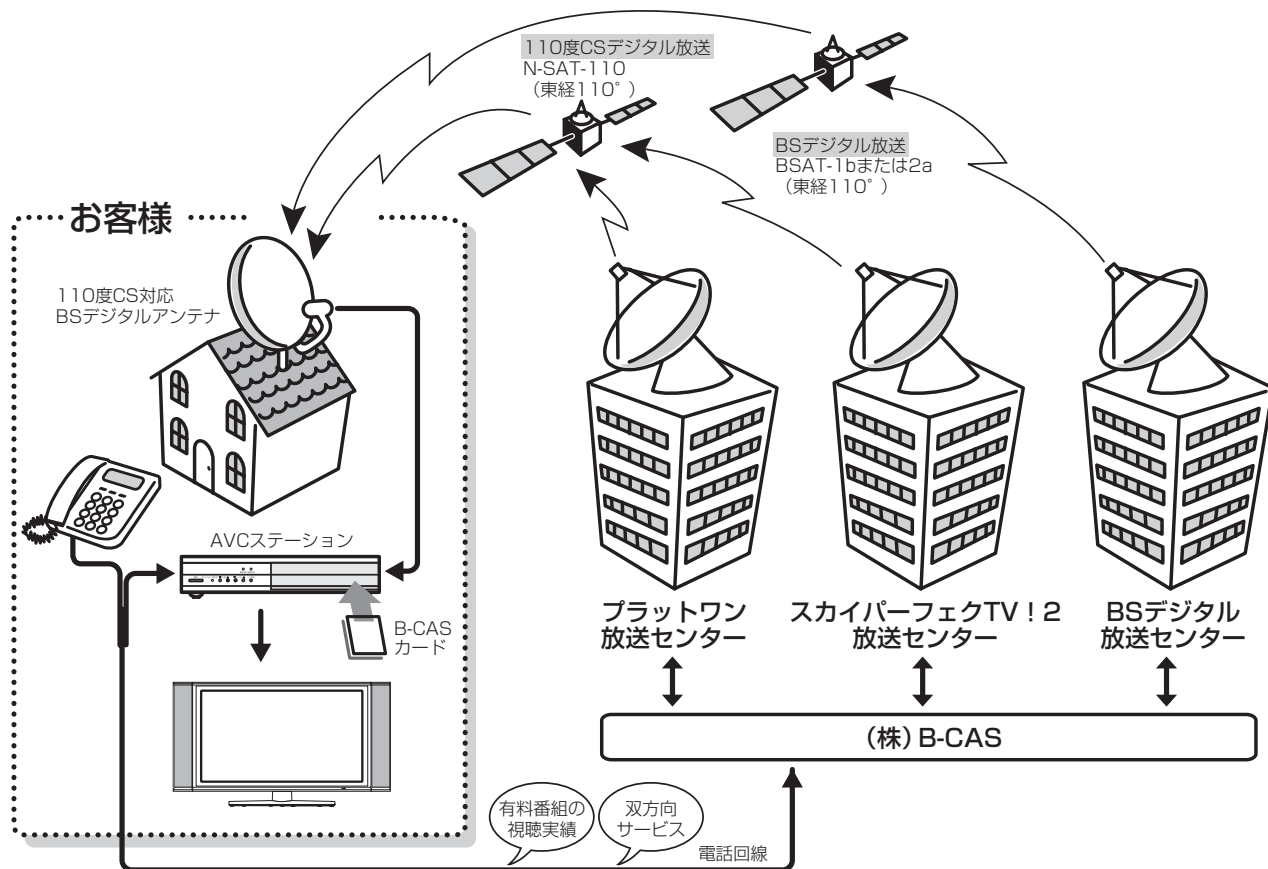
お知らせ

110度CSデジタル放送は、従来のCSデジタル放送　スカイパーフェクTV!(スカパー!)（東経128度、124度のJSAT-3、JSAT-4を利用）とは異なる放送です。従来のスカイパーフェクTV!(スカパー!)放送を受信するには、専用デジタルチューナーが必要です。本機では受信できません。

B-CASカードによる限定受信システム（CAS）のしくみ

BSデジタル放送および110度CSデジタル放送では、限定受信システム（CAS）を使って視聴者の受信状況を管理します。本機に付属のB-CASカードを挿入しておくと、有料番組の契約・購入状況や双方向サービスの情報がB-CASカードに記憶されます。その情報は電話回線を使って（株）B-CASへ自動送信され、管理されます。

限定受信システム（CAS：Conditional Access Systems）とは

限定受信システム（CAS）とは、有料放送の契約をした視聴者だけにスクランブル（放送内容をわからなくする技術）を解除して視聴できるようにする技術システムのことです。BSデジタル放送および110度CSデジタル放送ではスクランブルの解除以外に、データ放送の双方向サービスや放送局からのメッセージ送付にも利用しているので、有料放送を契約していない視聴者もB-CASカードの登録が必要です。

B-CASカードの登録

本機に付属のB-CASカードの台紙の一部がユーザー登録用はがきになっています。台紙に記載の文面をよくお読みのうえ、ユーザー登録はがきに必要事項を記入・押印してポストに投かんし、B-CASカードを必ず登録してください。
（登録料は無料です）

お知らせ

一部の台紙で「BSデジタル放送用ICカード」と印刷され、また、B-CASカードの裏面に「このカードはBSデジタル放送用です」と印刷されている場合がありますが、このような場合でもB-CASカードは、BSデジタル放送および110度CSデジタル放送いずれにもご使用になれます。

BSデジタル放送の有料放送視聴の手続きについて

- ●WOWOW、スター・チャンネルなどのBSデジタル放送の有料放送サービスを受信するためには、B-CASカードの登録のほかに、個別の受信契約が必要となります。
- ●有料放送を視聴するには、お客様の視聴したい番組を放送している放送局へ加入申し込みをして契約する必要があります。本機に同梱されている加入契約書に必要事項をご記入のうえ、ポストに投かんしてください。
- ●詳しくは、それぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。
- ●お問い合わせの際は、電話番号はお間違えのないようにお願いいたします。

2002年10月現在のBSデジタル放送局（ＮＨＫと有料放送局）の電話番号、ホームページアドレスおよびチャンネル番号は、次のようになっております。

BS放送局	お問い合わせ電話番号／ ホームページアドレス	BS放送局	お問い合わせ電話番号／ ホームページアドレス
NHK BS1 NHK BS2 NHK デジタルハイビジョン （101、102、103ch）	0120−151515 （受信契約専用フリーダイヤル） 受付時間　9:00〜20:00（年中無休） http://www.nhk.or.jp	WOWOW （191、192、193ch）	0120−480801（フリーダイヤル） 0570−008080（ナビダイヤル） （携帯電話などをお使いの方は、 045−683−8080） 受付時間　9:00〜20:00（年中無休） http://www.wowow.co.jp
NHK衛星放送受信契約をされていない方は、NHKと衛星放送受信契約が必要です。		WOWOWはテレビ放送のみの視聴申し込みが必要な放送です。ラジオ放送（491、492ch）と独立データ放送（791、792ch）は無料放送です。	
スター・チャンネルBS （200ch）	0570−010−110（ナビダイヤル） （携帯電話などをお使いの方は、 045−339−1555） 受付時間　10:00〜20:00（年中無休） http://www.star-ch.co.jp/pc/star	セント・ギガ （333ch）	0120−336−765 （受信契約専用フリーダイヤル） 受付時間　10:00〜21:00（年中無休） http://www.stgiga.co.jp
スター・チャンネルBSはテレビ放送のみの視聴申し込みが必要な放送です。独立データ放送（800ch）は無料放送です。		セント・ギガはラジオ放送のみの視聴申し込みが必要な放送です。独立データ放送（633、636ch）は無料放送です。	

お知らせ

- ●NHKでは、BSデジタル放送のメッセージ機能を利用して受信確認を行っています。すでにNHKと衛星放送受信契約されていても、本機に同梱されている「B-CASカードユーザー登録はがき」をお送りいただけない場合、または、はがきを送っても下部の「はい」に○がついていない場合は、B-CASカードを挿入して30日経過後、NHK−BSデジタル放送のチャンネルに合わせると、画面左下にＮＨＫへのご連絡をお願いするメッセージが表示されます。このメッセージは、画面に表示されるNHKのフリーダイヤルにお電話いただき、B-CASカード番号、住所、お名前、電話番号などをお伝えいただければ、表示されなくなります。
- ●一部のデータ放送など、無料放送でもユーザー登録が必要な場合があります。詳しくは、それぞれの放送局へお問い合わせください。

110度CSデジタル放送の有料放送視聴の手続きについて

●110度CSデジタル放送の有料放送サービスを受信するためには、BSデジタル放送と異なり、個別のチャンネルの放送事業者毎ではなく、「プラットワン」「スカイパーフェクTV！2(スカパー!2)」の2つのプラットフォームが、それぞれに属する放送チャンネル受信契約の代行を行うこととなります。
●「プラットワン」「スカイパーフェクTV！2(スカパー!2)」の対象チャンネルは、「プラットワン」が000～099chと700～999ch、「スカイパーフェクTV！2(スカパー!2)」が100～699chとなります。（すべてのチャンネルで放送しているわけではありません。）
●110度CSデジタル放送では、チャンネル毎の受信契約のほかに、個別に契約申込されるよりも視聴料金がお得なパック契約が用意される場合があります。
●詳しくは、視聴したい有料放送チャンネルの該当するプラットフォームのカスタマーセンターへお問い合わせください。
●お問い合わせの際は、電話番号はお間違えのないようにお願いいたします。

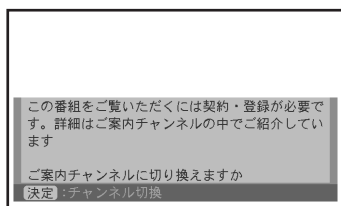
2002年10月現在の110度CSデジタル放送プラットフォームのカスタマーセンター電話番号とホームページアドレスは次のようになっております。

110度CSデジタル放送プラットフォーム	お問い合わせ電話番号／ホームページアドレス
プラットワン・カスタマーセンター	0570－001－012（ナビダイヤル） （携帯電話などをお使いの方は、045－227－9650） 受付時間　10:00～20:00（年中無休） http://www.plat-one.com
スカイパーフェクTV！2(スカパー!2)・カスタマーセンター	0570－088－222（ナビダイヤル） （携帯電話などをお使いの方は、045－339－0002） 受付時間　10:00～20:00（年中無休） http://www.skyperfectv2.jp

新しいサービスについて

110度CSデジタル放送の開始にともない新しいサービスが行われています。サービス内容に関しては放送事業者へご確認ください。

【ご案内チャンネル切り換え機能】

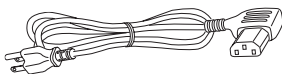
事前に申し込みが必要な契約チャンネルを選局したとき、お客様が契約されていない場合、ご案内チャンネルを簡単に選局するための機能です。画面表示にしたがって決定ボタンを押すと「ご案内チャンネル」が選局されます。
例）

【ブックマークサービス】

ブックマークサービスは放送局がデータ放送の機能を使って行うサービスで、お客様が関心を持った内容の関連情報を簡単に呼び出すことができる機能です。
　ブックマークサービスは次のような手順で利用することができます。
　番組を視聴しているときに、画面にブックマークを表すアイコンなどが表示されたら、リモコンの決定ボタン（サービスによって異なる場合があります。）などでブックマークを登録することができます。
　登録したブックマークから関連情報を呼び出すときは、ブックマーク表示（リスト）サービスを行っているチャンネルを選局します。登録したブックマークが表示されるので、ご覧になりたい項目を選択して選局することができます。（項目によっては選局できないこともあります。）

付属品をご確認ください。
万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。

■取扱説明書（本書）および保証書は、よくお読みになって内容をご理解の上、いつでも確認できるところへ大切に保管してください。

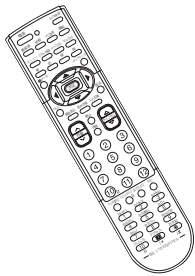
モニターの付属品

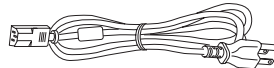
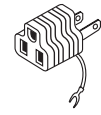
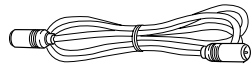
保証書 ……………………1冊

電源コード（黒色）121

電源プラグアダプター 121

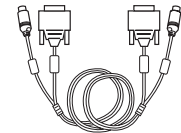
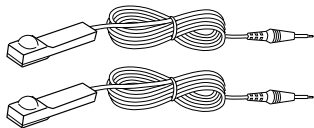
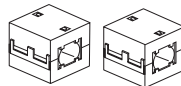
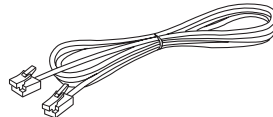
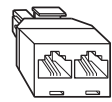
スピーカー用緩衝シート 121

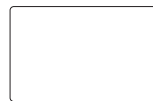
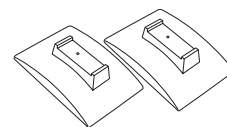
AVCステーションの付属品

取扱説明書（本書）………1冊

リモコン送信機 19

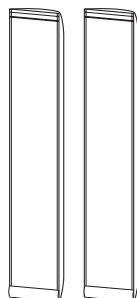
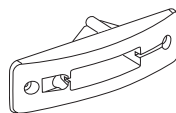
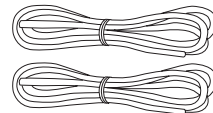
単3形乾電池 23

電源コード（灰色）121

電源プラグアダプター 121

専用接続ケーブル 120 121

RFケーブル 122

中継接栓 122

ビデオコントローラー（1個）128
メディアコントローラー（1個）132

フェライトコア（2個）123

モジュラーケーブル 127

モジュラー分配器 127
（2分配用）

メモ
付属品のビデオコントローラーとメディアコントローラーは同じものです。

B-CAS（ビーキャス）カード 126
（BS·110度CSデジタル放送用ICカード）

縦置き用スタンド 120
（2個）

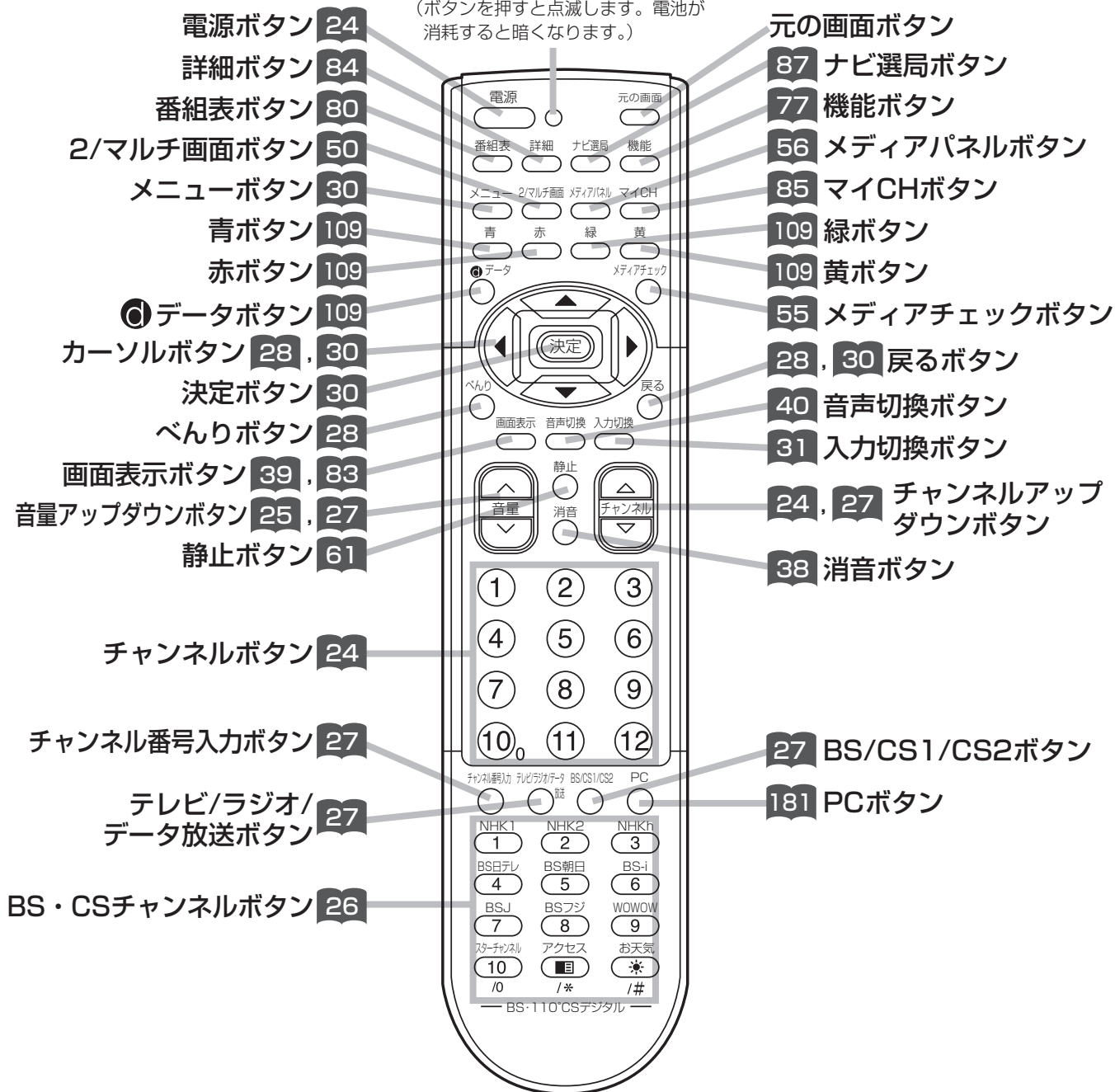
スタンド用取付けネジ 120
（2本）

スピーカーシステムの付属品
（37SP1）

スピーカー 119
（L）（R）

スピーカーホルダー 119
（4個）

スピーカー接続ケーブル（2本）119

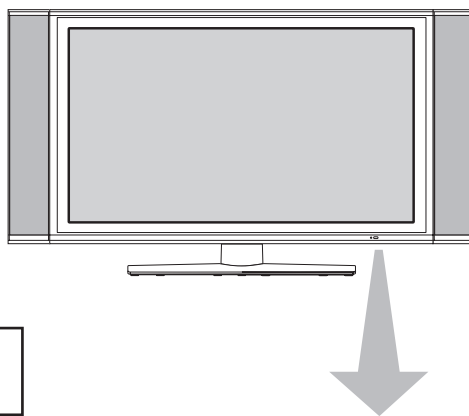
取付けネジ 119
（8本）

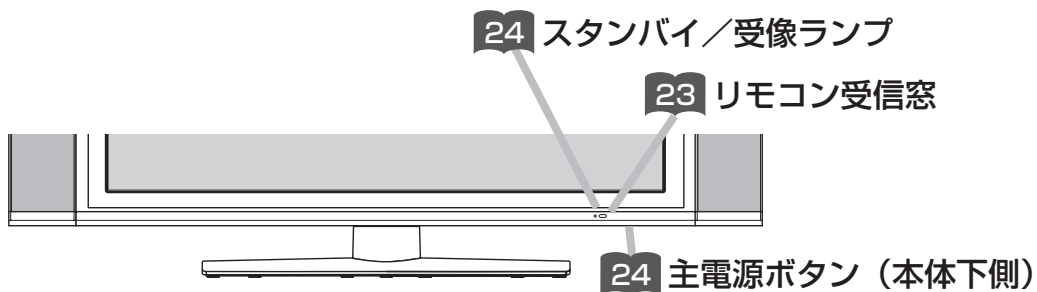
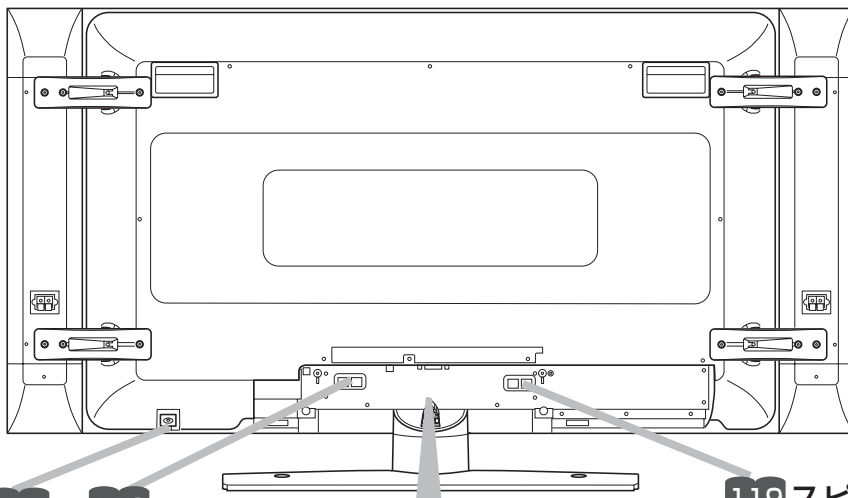
各部のなまえ

リモコン

内の数字は、参照ページです。

メ モ

PC入力時のリモコンボタンについて
静止ボタン、メディアチェックボタン、メディアパネルボタン、音声切換ボタンはPC入力時はご使用になれません。

元の画面ボタンについて
2画面やメニュー表示などの状態から、1画面に戻すのに使用できます。

モニター

前面

後面

主電源ボタン 24

119 スピーカー端子（右）

119 スピーカー端子（左）

スピーカー端子（右）(6Ω12W) − ＋

サブウーハー出力

専用モニター入力 (専用ケーブル以外は接続しないで下さい)

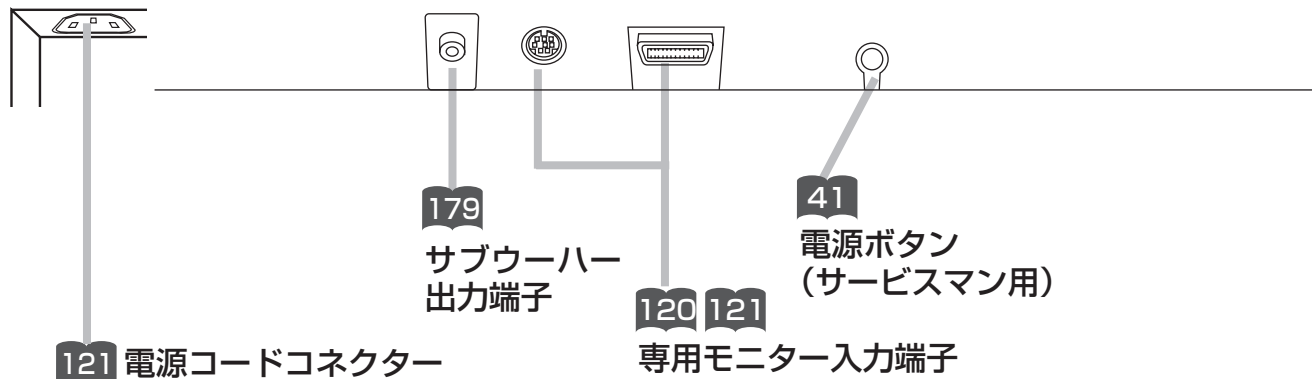
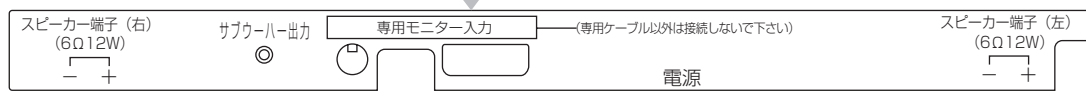
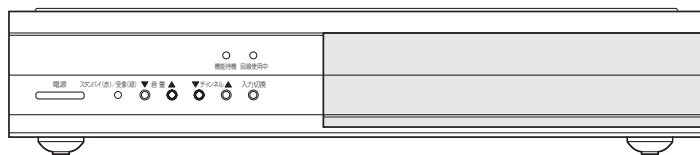
電源

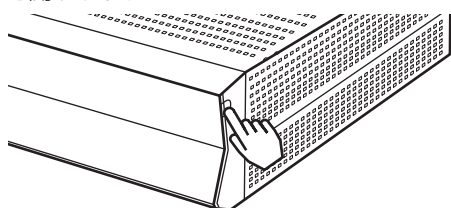
スピーカー端子（左）(6Ω12W) − ＋

179 サブウーハー出力端子

41 電源ボタン（サービスマン用）

120 121 専用モニター入力端子

121 電源コードコネクター

AVCステーション前面

前面とびらの開けかた

とびらの横の部分に指を引っかけ、とびらを開けます。

機能待機ランプ

リモコンで電源を「切」にしたとき、次の場合に点灯します。

・BS・CSch固定「入」（録画予約）にしているとき 75
・i.LINK待機を「する」にしているとき 171
・ダウンロードしているとき 164
・有料放送の契約・購入状況などの情報を取得するとき 94

127 回線使用中ランプ

電話回線に接続したときに点灯します。

リモコン受信窓 23

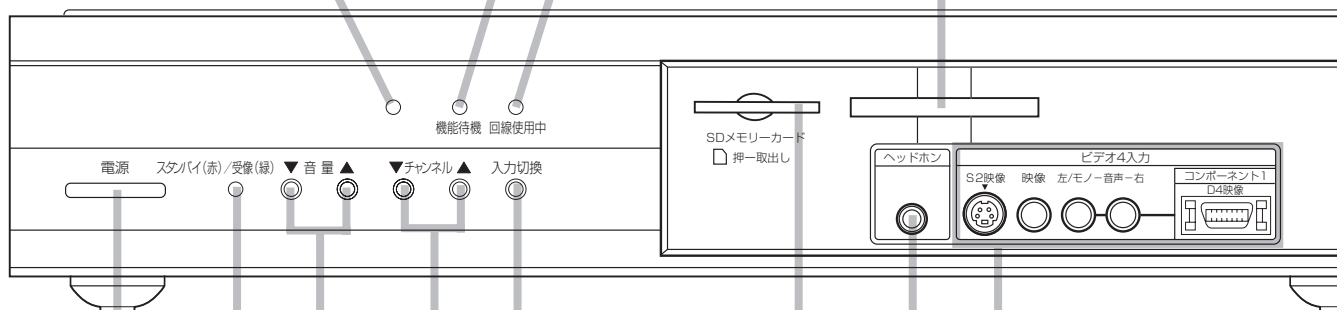
126 B-CASカード挿入口

41 入力切換ボタン

174 177 ビデオ4（コンポーネント1）入力端子

41 チャンネルボタン

ヘッドホン(ミニ)端子

別売りのミニプラグのヘッドホンをつなぐ端子です。
ヘッドホンの音量を設定することができます。 48

41 音量ボタン

41 スタンバイ／受像ランプ

41 電源ボタン

58 SDメモリーカード挿入口

お知らせ

機能待機ランプについて

リモコンやAVCステーションの電源またはモニターの主電源ボタンで電源を「切」にしたとき、BS・CSデジタルチューナーの電源処理のためにしばらく点灯することがあります。

操作ができなくなった場合は

BS・CSデジタル放送の受信異常などにより、本機の操作ができなくなった場合は、AVCステーション本体の電源ボタンを5秒以上押して、機能待機ランプ消灯後、再度電源ボタンを押してください。（BS・CSリセット）

AVCステーション後面

122 UHF/VHF混合アンテナ端子

129 ビデオ1〜3入力端子

129 BS・CS/モニター出力端子

129 コンポーネント2（ビデオ5）入力端子

181 PC（RGB）入力端子

120 121 専用モニター出力端子

127 通信端末用アース端子

128 ビデオコントローラー端子

129 AV-BUSⅢ端子（BS・CS録画予約専用）

125 BS/CS-IF入力端子

メディアコントローラー端子 132

PC音声入力端子 181

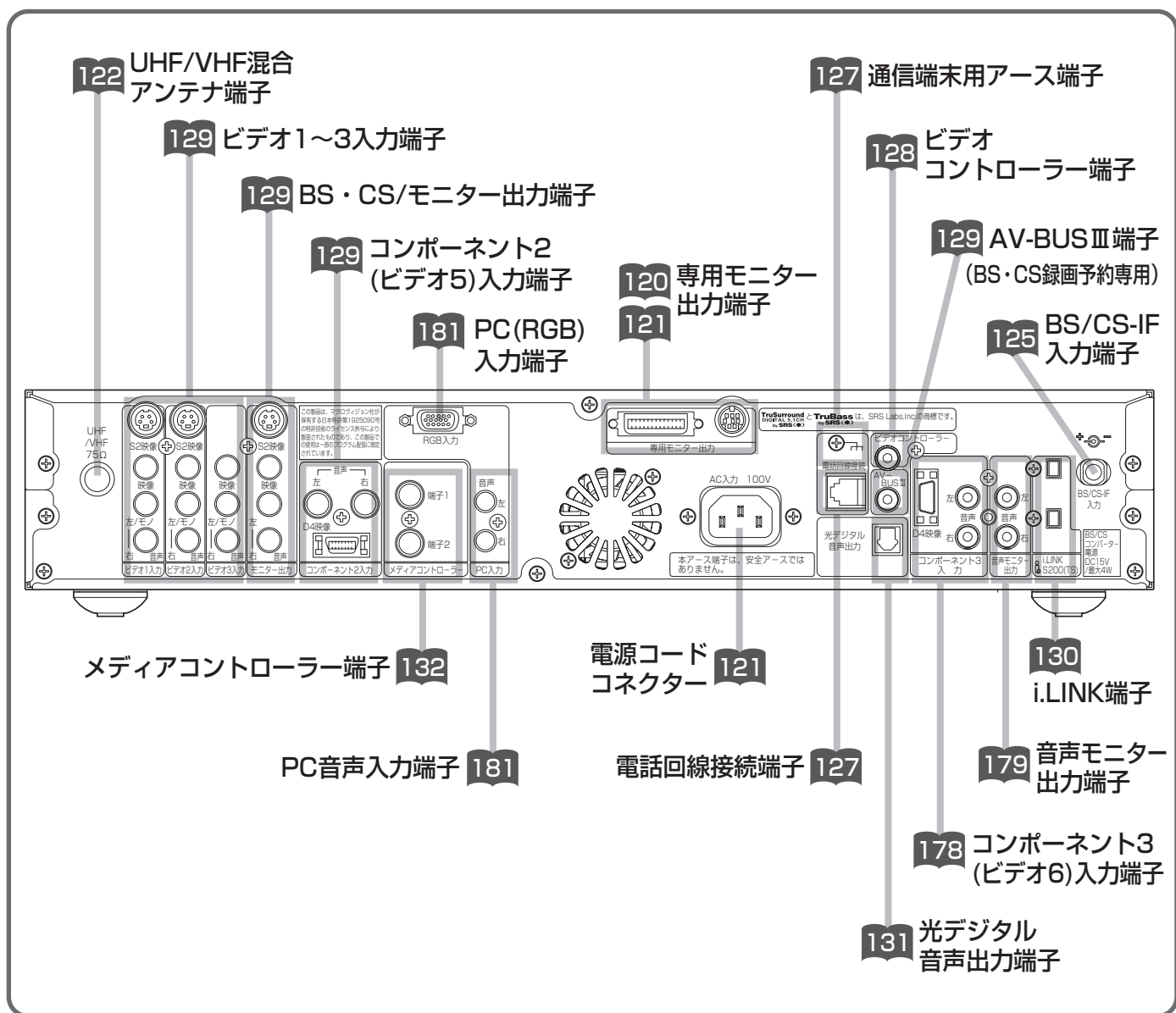
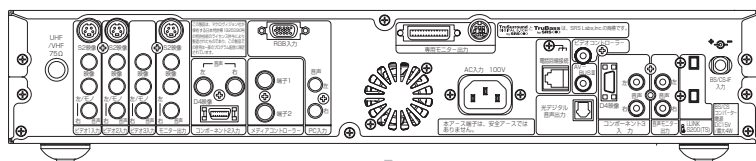
電源コードコネクター 121

電話回線接続端子 127

130 i.LINK端子

179 音声モニター出力端子

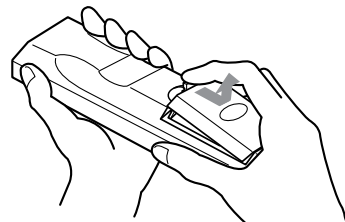
178 コンポーネント3（ビデオ6）入力端子

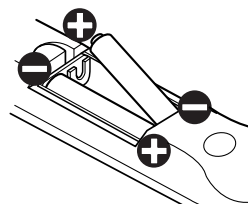
131 光デジタル音声出力端子

将来発売予定の機器との接続

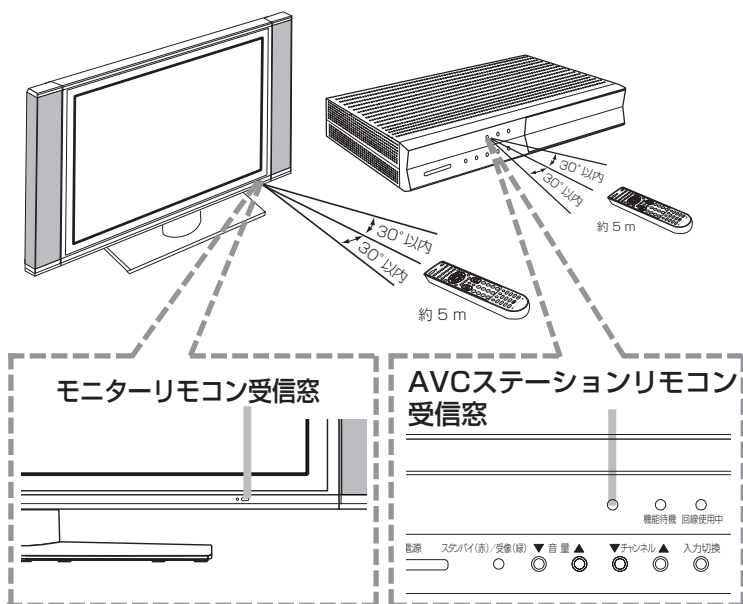
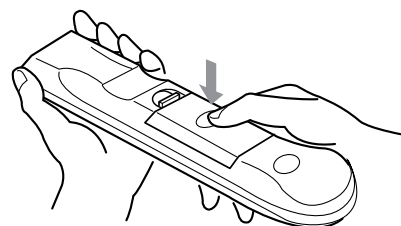
テレビ関連機器の中には、現在開発中で数年後に実用化されると思われる機器がいくつかあり、システムアップが可能となります。使い方など、詳しくは各接続機器の取扱説明書をご覧ください。

> ⚠ 注意
> **乾電池の使用上のご注意**
> - ●本機で指定されていない電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。
> - ●電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。まちがえますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

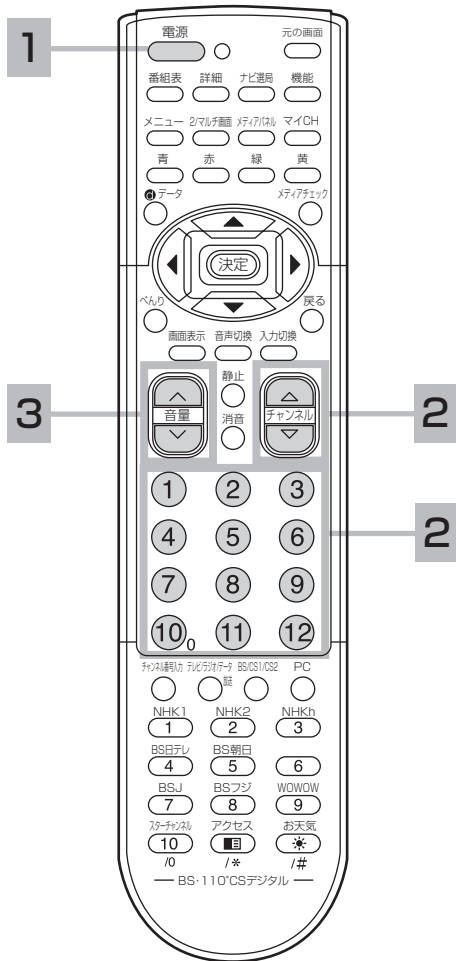
1 電池ぶたをはずす

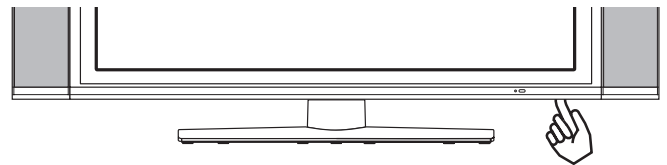
電池ぶたのつまみを引き寄せながら、矢印の方向に引いて開けます。

2 乾電池を入れる

付属の単3形乾電池を ⊕ 、⊖ の表示どおりに入れます。

3 電池ぶたを閉める

電池ぶたを矢印の方向に押して戻します。

- ●リモコンは、モニターのリモコン受信窓またはAVCステーションのリモコン受信窓、どちらに向けても操作することができます。
- ●リモコンは、それぞれのリモコン受信窓の正面から約5メートル、左30度、右30度の範囲内でお使いください。
- ●メディア操作機能 64 を使用して外部機器を操作するときは、本機のモニターのリモコン受信窓に向けて操作します。
  リモコン送信機はメディア操作モードにより
  - ・メディアパネル機能 56 使用時：本機に付属のリモコン送信機で操作します。
  - ・リモコンスルー機能 57 使用時：外部機器専用のリモコン送信機で操作します。
- ●メディア操作機能を使用しないで外部機器を操作するときは、外部機器専用のリモコン送信機を外部機器のリモコン受信窓に向けて操作します。

お守りください リモコンの使用上のご注意

- ●リモコンを落としたり、衝撃を与えないでください。
- ●リモコンに水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。故障の原因になります。
- ●長時間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- ●リモコンの操作がしにくくなったら、乾電池を交換してください。
- ●リモコン受信窓に直射日光などの強い光が当たると動作しなくなることがあります。光が直接当たらないようにテレビの向きを変えてください。

準備（主電源ボタン操作）

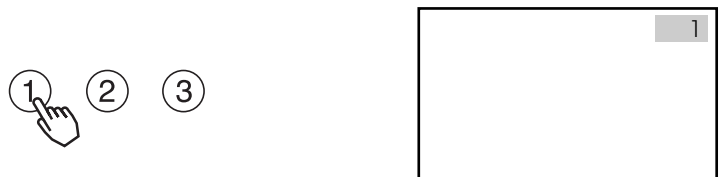
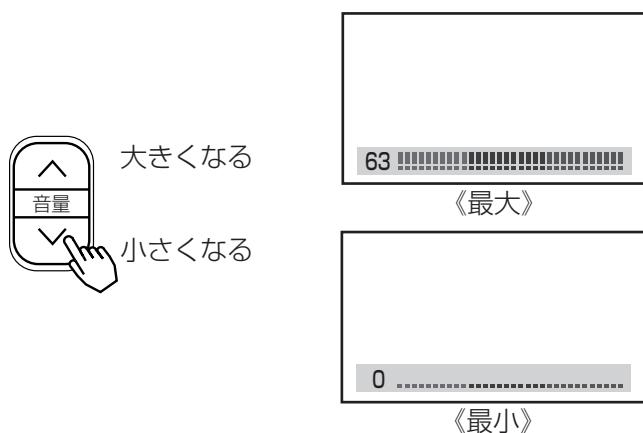
モニターのスタンバイ／受像ランプが消えているときは、リモコンでは電源が入りません。
まずモニターの主電源ボタンを押してください。スタンバイ／受像ランプが赤に点灯します。

1 電源ボタンを押す

モニターのスタンバイ／受像ランプが緑に点灯し、前に見ていたチャンネルが現れます。

電源を切るときは、もう一度押します。

2 チャンネルを選ぶ（1～12）

画面右上に選んだチャンネルが表示されます。
表示は約6秒で自動的に消えます。

チャンネルアップダウンボタン を使ってチャンネルを順送りで選ぶこともできます。

お守りください

動作中に停電になったときのご注意
テレビが動作中に停電になった場合、停電の回復とともに電源が入ります。テレビから離れるときはモニターとAVCステーションの電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

3 音量を調節する

音量の大きさが数字と !!!!!!!!!...... で画面に表示されます。

《最大》

《最小》

マルチ画面を見たいとき

リモコンの2／マルチ画面ボタンで､お好みのマルチ画面を見ることができます。50

メディアチェックで選びたいとき

テレビ放送、BS・CSデジタル放送および外部入力映像を画面で選ぶことができます。55

メ モ

リモコンの操作は

スタンバイ/受像ランプが点灯しているときにのみ、リモコンの操作は可能です。

リモコンの電源ボタンを押して電源を切っておくと、次回から電源の「入・切」もリモコンでできます。

本体操作で電源を入れるには

スタンバイ/受像ランプが赤く点灯しているときに、AVCステーションの電源ボタンを押すと電源が入ります。41

スタンバイ／受像ランプについて

●スタンバイ／受像ランプの状態は、AVCステーションでも確認することができます。

●スタンバイ／受像ランプが橙色に点灯しているときは、パワーセービング状態になっています。68、190

①手順 1 で電源ボタンを押すとランプが赤に点灯し、電源が切れます。もう一度電源ボタンを押すと、ランプが緑に点灯し、電源が入ります。

②パワーセービング状態のときは、手順 2 のチャンネルを選んだり、入力切換ボタンを押すことにより電源を入れることもできます。

●モニターのスタンバイ／受像ランプが橙色に点滅しているときは電源プラグをコンセントから抜いたうえで、モニターとAVCステーションの専用接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。120 121

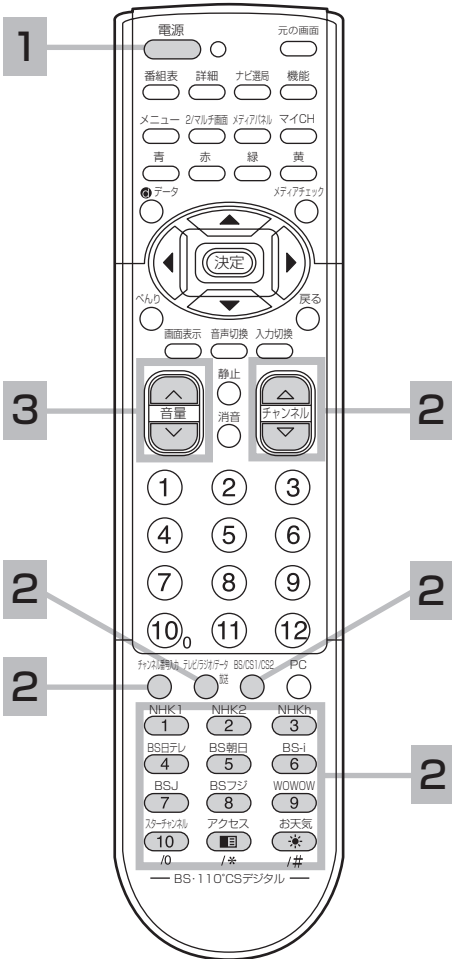
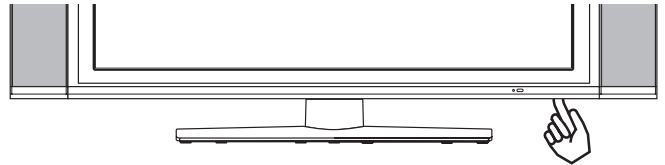
お買い上げ時のチャンネル設定

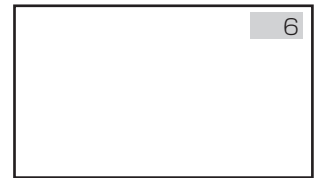
●お買い上げ時は、VHF1〜12チャンネルの12局が設定されています。

チャンネルの設定を変更することもできます。134

●空きチャンネルの飛び越し選局 148 の設定をすると、空きチャンネルを飛び越して放送されているチャンネルをすばやく選局することができます。

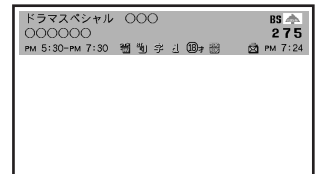
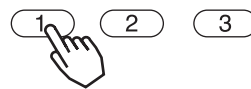
準備（主電源ボタン操作）

モニターのスタンバイ／受像ランプが消えているときは、リモコンでは電源が入りません。
まずモニターの主電源ボタンを押してください。スタンバイ／受像ランプが赤に点灯します。

1 電源ボタンを押す

モニターのスタンバイ／受像ランプが緑に点灯し、前に見ていたチャンネルが現れます。
電源を切るときは、もう一度押します。

2 ワンタッチ選局

本機では、あらかじめ 1～10、アクセス、お天気 ボタンにBSチャンネルを設定（プリセット）しています。直接 1～10、アクセス、お天気 ボタンを押すと、設定されているチャンネルを簡単に選局できます。

チャンネルを選ぶ

画面右上に選んだチャンネルが表示されます。83

選んだ番組によって、以降の操作が異なります。
- 有料番組を選んだとき 94
- 視聴制限の対象になる番組を選んだとき 107

お買上げ時のプリセット設定について

お買上げ時のプリセット設定は、下表の通りです。
プリセットされているチャンネルは変更ができます。159

ボタン	チャンネル	放送局	ボタン	チャンネル	放送局
1	（101チャンネル）	NHK1 (NHK BS1)	7	（171チャンネル）	BSJ (BSジャパン)
2	（102チャンネル）	NHK2 (NHK BS2)	8	（181チャンネル）	BSフジ
3	（103チャンネル）	NHKh (NHKハイビジョン)	9	（191チャンネル）	WOWOW
4	（141チャンネル）	BS日テレ	10 /0	（200チャンネル）	スターチャンネル (スター・チャンネルBS)
5	（151チャンネル）	BS朝日	アクセス /*	（755チャンネル）	BS朝日データ
6	（161チャンネル）	BS-i	お天気 /#	（910チャンネル）	ウェザーニュース

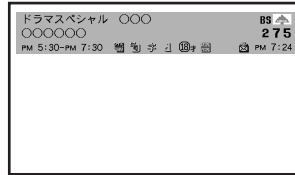
2 番号で直接選ぶ（番号入力選局）

選局したいチャンネル番号があらかじめ分かっている場合は、3桁のチャンネル番号を入力して選局できます。

①チャンネル番号入力ボタンを押す

チャンネル番号入力画面が表示されます。

②ご覧になりたいチャンネル番号を入力する

例：チャンネル番号275を選局する場合

BS放送を受信しているときに、CS放送をチャンネル番号選局する場合、数字ボタンでチャンネル番号を入力している状態で、BS/CS1/CS2ボタンを押してください。

選んだ番組によって、以降の操作が異なります。

- ●有料番組を選んだとき 94
- ●視聴制限の対象になる番組を選んだとき 107

BS・CS放送を切り換える場合

BS/CS1/CS2ボタンを押す

ボタンを押すごとに、BS、CS1（プラットワン）、CS2（SKY PerfecTV! 2)で最後に見ていたチャンネルを順送りに選局します。

アップダウン選局

デジタル放送には、テレビ（BS・CS）放送、ラジオ放送、データ放送の3つのサービスがあります。チャンネルボタンを押すと、受信できるサービス（例えばテレビ放送のサービス）のチャンネルをBS、CS順逆送りに選局します。

①テレビ／ラジオ／データ放送ボタンを押して、サービスを選ぶ

●テレビ／ラジオ／データ放送ボタン：
テレビ（BS・CS）放送、ラジオ放送、データ放送で最後にご覧になっていたチャンネルを順送りに選局します。

②チャンネルアップダウンボタンを押す

チャンネルを順逆送りで選局することができます。

選んだ番組によって、以降の操作が異なります。

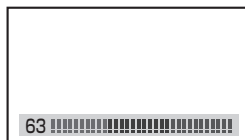
- ●有料番組を選んだとき 94
- ●視聴制限の対象になる番組を選んだとき 107

機能メニュー画面でもサービスを切り換えることができます。93

3 音量を調節する

音量の大きさが数字と!!!!!!!!!......で画面に表示されます。

大きくなる

小さくなる

《最大》

《最小》

メ モ

番号入力選局について

チャンネル番号を正しく入力しなかったときや約5秒以内に次の番号を押さなかったときは、選局動作をしません。

アップダウン選局について

「BS・CSメニュー」画面のチャンネルスキップ設定 160 により順送りするチャンネルが異なります。なお、チャンネルの設定については 159 をご覧ください。

お知らせ

電源を切るときに、最後にご覧になっていたチャンネルがBS・CSデジタル放送の場合、再度電源を入れたときは、画面が出画するまで10秒程度の時間がかかることがあります。

マルチ画面を見たいとき

リモコンの2／マルチ画面ボタンで、お好みのマルチ画面を見ることができます。ただし、BS・CSチャンネルを同時に2画面で見ることはできません。50

メディアチェックで選びたいとき

テレビ放送、BS・CSデジタル放送および外部入力映像を画面で選ぶことができます。55

マイCHで選びたいとき

BS・CSデジタル放送を画面で選ぶことができます。85

お知らせ

ラジオ放送には映像のない番組があります。この時は、画面には何も表示されませんので、本機の電源の切り忘れ等にご注意ください。

べんり機能を使うと見ている画面に応じてお好みの設定にすることができます。
これらの設定項目は上下左右方向に矢印（▲）のついたカーソルボタンを使って機能の設定ができます。

べんり機能の項目の選びかた

1 べんりボタンを押す

べんり画面（1/2ページ目）が現れます。
べんりボタンを押すたびに下記のように切り換わります。

1/2ページ目→2/2ページ目→通常画面

2 ◎で項目を選び、◎で設定する

べんり		ページ1／2
ワイド切換	◀	スムーズ ▶
画面位置	:	0
映像モード	:	スーパー
▼音声モード	:	スタンダード
◎選択 ◎設定		戻る終了

- 「▼」の表示があるときは、べんりボタンまたは◎を押すと、 次のページが表示されます。
- 「▲」の表示があるときは、戻るボタンまたは◎を押すと前のページが表示されます。
- ◎でグレー色の項目を選んだときは、◎で設定を切換えたり、決定ボタンで操作することはできません。

3 設定が終わったらべんりボタンを1～2回押す

- 元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。
- 「▼」の表示があるときは、べんりボタンまたは◎を押すと、 次のページが表示されます。
- 「▲」の表示があるときは、戻るボタンまたは◎を押すと前のページが表示されます。

メ モ

リモコンの戻るボタンについて
べんり機能やメニュー 30 の設定画面のとき戻るボタンを押すと、前の設定画面に戻したり、設定画面を終了させることができます。

べんり機能で設定できる項目について

■通常のテレビ放送／BS・CSデジタル放送／ビデオ入力時

1ページ目

32 画面のワイドモードを選ぶことができます。

35 画面の位置を上下に移動することができます。

42 映像の自動調整モード（映像モード）を選ぶことができます。

49 音声モードを設定することができます。

2ページ目

49 音声のTruBass機能を強/中/弱/切することができます。

49 音声のサラウンドモードを設定することができます。

37 テレビ放送のゴースト妨害を低減することができます。
メニュー画面の「GRT設定」で設定することもできます。
ビデオ入力時、PC入力、BS・CS受信時は「GRT」の設定はできません。"入／切"表示が"－"表示になりGRTを選択すると"切換できません"の表示がでます。

62 自動的にテレビの電源を切ることができます。

■PC（パソコン）信号入力時

1ページ目

183 垂直位置、水平位置、クロック、位相を自動調節します。

184 画面の垂直位置を調節します。

184 画面の水平位置を調節します。

184 縦方向の大きな縞がなくなるように調節します。

184 横方向の縞や文字のにじみが最小になるように調節します。

184 お買上げ時の設定に戻します。

2ページ目

32 画面のワイドモードを選ぶことができます。

49 音声モードを設定することができます。

49 音声のTruBass機能を強/中/弱/切することができます。

49 音声のサラウンドモードを設定することができます。

62 自動的にテレビの電源を切ることができます。

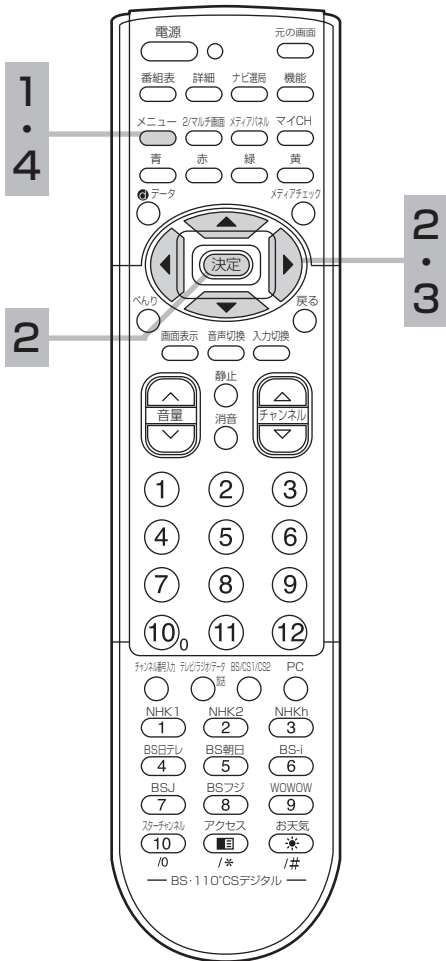
185 PCウィンドウ 185 をご覧になるとき、子画面側の音声を聴くことができます。

■2画面/マルチ画面時

50 2画面に切り換えます。

50 マルチ画面に切り換えます。

52 54 2画面/マルチ画面でBS・CSデジタル放送のデータ放送や写真を見る画面を操作するときに切り換えます。

メニューボタンを押すと画面にメニューが表示され、カーソルボタンを使って、ほとんどの機能の設定ができます。

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が現れます。

2 で項目を選び、決定ボタンを押す

43 182 映像設定
47 音声設定
63 75 他の設定
68 134 183 初期設定
95 150 BS・CSメニュー

3 で設定する

で項目を選んで、で設定（または選択、調節）します。

〈映像設定を選んだときの設定画面表示の例〉

- 「▼」の表示があるときは、を押すと、次のページが表示されます。
- 「▲」の表示があるときは、戻るボタンまたはを押すと前のページが表示されます。
- でグレー色の項目を選んだときは、で設定を切換えたり、決定ボタンで操作することはできません。

4 設定が終了したらメニューボタンを1～2回押す

画面表示が消えて、設定が完了します。

●元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

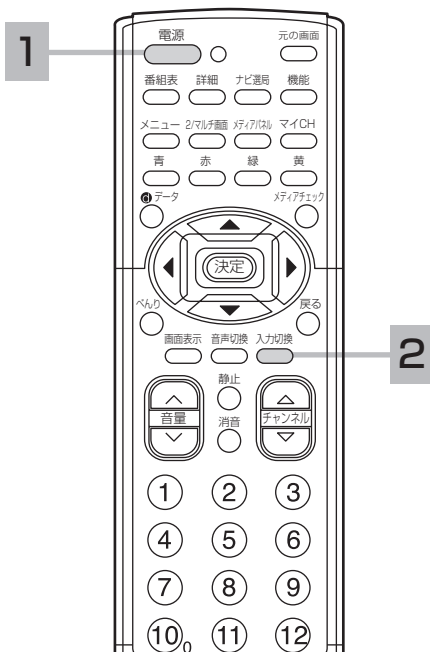
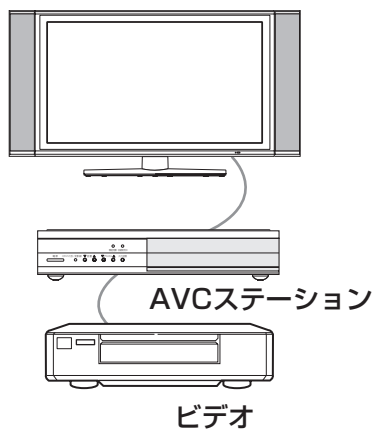
メ モ

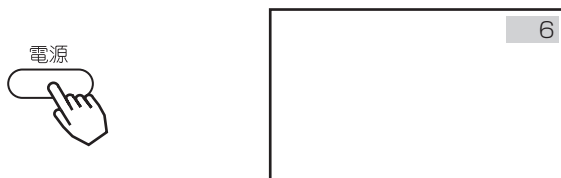
リモコンの戻るボタンについて

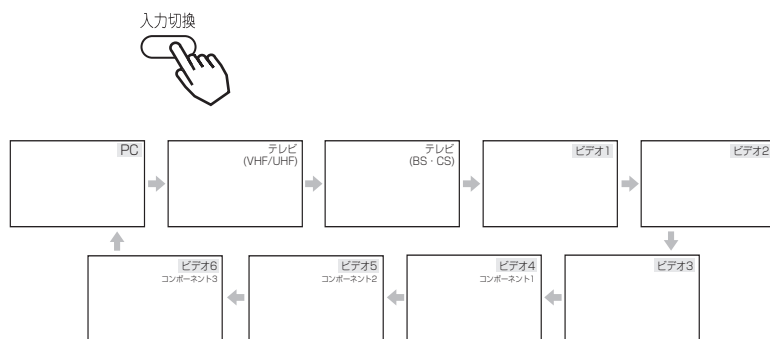
戻るボタンを押すと、前の設定画面に戻したり、設定画面を終了させることができます。

準　備

お手持ちのビデオを本機の入力端子に接続します。
接続についての詳しい説明をご参照ください。 129

D-VHSビデオデッキを使用するときは 114 をご覧ください。

1 電源ボタンを押す

前に見ていたチャンネルが現れます。
（前にビデオを見ていたときは、ビデオ1などのビデオ画面になります。）

2 入力切換ボタンを押して、ビデオ画面を選ぶ

押すごとに、図のように切り換わります。（お買い上げ時）
お手持ちの機器が接続されているビデオ入力を選びます。

3 ビデオを再生する

メ　モ

ビデオの再生中にテレビを見るには
途中でテレビを見るときは、入力切換ボタンまたは、ご希望のチャンネルボタンを押してください。

ビデオ4、5、6について
ビデオ4、5、6入力端子はコンポーネント映像信号の入力端子（D4映像端子）です。D1～D4映像のいずれかの出力端子のある映像機器を接続します。
D4映像端子に接続すると「コンポーネント1」「コンポーネント2」または「コンポーネント3」の表示ができます。176 ～ 178

入力スキップ設定について
ご使用にならない入力端子がある場合、入力切換ボタンを押したとき飛越し（スキップ）させることができます。70

ビデオ入力表示の書き換えについて
外部機器の設定をすると接続する機器に合わせてビデオ入力やコンポーネント入力の表示を書き換えることができます。70

ビデオ入力画質について
映像がギラギラしていたり、ノイズが目立つ場合は、「映像設定」で「ビデオ入力画質」をクリアにしてご覧ください。44

本機は横長のワイド画面を採用していますので、現行テレビ放送の映像も、映画など横長サイズの映像も、ワイド機能を使って画面一杯に拡大してお楽しみいただけます。
さらに映像を上下に移動させて見やすい位置にすることもできます。

ワイドモードの選びかた

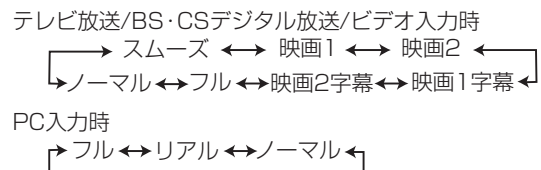
1 べんりボタンを押す

べんり機能の設定画面（1ページ目）が表示されます。

2 で「ワイド切換」を選び、でワイドモードを設定する

べんり	ページ1／2
ワイド切換	◀ 映画１字幕 ▶
画面位置	： ＋１０
映像モード	： スーパー
▼音声モード	： スタンダード
選択　設定　戻る終了	

を押すたびにワイドモードは次のように変わります。

テレビ放送/BS･CSデジタル放送/ビデオ入力時
スムーズ ⟷ 映画1 ⟷ 映画2
ノーマル ⟷ フル ⟷ 映画2字幕 ⟷ 映画1字幕

PC入力時
フル ⟷ リアル ⟷ ノーマル

- ●BS・CSデジタル放送では、標準放送の525i(480i)で4:3映像のときにワイド切り換えすることができます。
- ●PC入力時のリアルモードは入力信号がVGAのときのみ選択できます。
- ●お買い上げ時は、テレビ放送、BS・CSデジタル放送、ビデオ入力時は「スムーズ」、PC入力時は「フル」が設定されています。
- ●ワイドモードは、テレビ放送やBS・CSデジタル放送、ビデオ1～ビデオ6およびPC入力の各モード毎に設定することができます。
- ●設定したワイドモードは電源を切っても記憶されています。
- ●ラジオ放送などの映像のない番組や受信途中で映像情報を取得できない場合は、正しく切り換えできないことがあります。

3 設定が終了したらべんりボタンを2回押す

2回押す

元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

お知らせ

●このテレビは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選びますと、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点にご留意のうえ、画面モードをお選びください。
●このテレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、ワイド機能を使った拡大状態で使用されますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
●ワイド映像でない従来（通常）の4：3の映像をスムーズモードを利用して、ワイドテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、ノーマルモードでご覧になれます。
●本機は、フルモード制御信号の入った映像がビデオ1,2,4のS2映像入力に入力されると自動的にワイド画面一杯に表示します。
●BS・CSデジタル放送のハイビジョン放送1125i(1080i)、750p(720p)や標準放送の525p(480p)を受信すると、ワイドモードは自動的にフルモードに固定され、ワイド切換はできません。
また、標準放送の525i(480i)を受信したとき、フルモード制御信号やレターボックス制御信号を検出すると、自動的にフルモードまたは映画1モードに固定され、ワイド切換はできません。
●ビデオ4,5,6のコンポーネント入力端子に、1125i（1080i）,750p(720p)の信号を入力すると、ワイドモードは自動的にフルモードに固定され、ワイド切り換えはできません。

メ モ

コンポーネント入力時のワイドモードについて

●ビデオ4，5，6のコンポーネント入力端子にD端子ケーブルで525i（480i），525P（480P）信号を入力したときは、アスペクト比制御信号を検出して、自動的にワイドモードを切り換えます。
●ビデオ4，5，6のコンポーネント入力端子にD端子ピンケーブルで525i（480i），525P（480P）信号を入力したときは、525i (480i) 信号では最後にご覧になっていたワイドモードに、525P（480P）信号では、フルモードに自動的に切り換わります。

PC入力時のワイド切換について

●PC入力時のワイドモード表示は、入力信号を圧縮・拡大などの処理を行って表示しているため、入力信号を忠実に再現できない場合があります。

ワイドクリアビジョン放送識別について

●ワイドクリアビジョン放送は、現行のテレビ放送方式と両立性を保ちながら、放送信号にワイドクリアビジョン放送識別信号と画質向上信号を付加し、ワイド画面化と画質向上を図ろうとする放送方式です。
本機は上記ワイドクリアビジョン放送識別信号に対応して、現行方式かワイドクリアビジョン放送かを識別し、ワイドクリアビジョン放送であれば自動的に最適サイズに切り換える回路を搭載しています。
●ワイドクリアビジョン放送識別は「EDTVⅡ識別」の設定が「する」の場合のみ有効です。63
●ワイドクリアビジョン放送受信中に画面表示ボタンを押したとき、またはチャンネル切り換え、入力切り換えをしてワイドクリアビジョン放送を受信したときのみ ワイド が表示されます。
●ワイドクリアビジョン放送をビデオに録画して再生する場合や電波受信状態（ゴースト、弱電界など）によっては、ワイドクリアビジョン放送識別がうまく動作しない場合があります。このような場合は、「EDTVⅡ識別」の設定を「しない」にしてお好みのワイドモードに設定してください。

ワイドモードについて

TV/BS・CS/ビデオ入力時	
	ノーマル（通常の状態） 通常のテレビ放送の映像は中央に映ります。
	スムーズ 4：3の映像を画面中央の真円度を保ち、水平方向に不自然にならないように画面一杯にし、垂直方向に10%拡大します。ドラマなどのスタジオ番組に最適です。
	映画1 ビスタサイズの映画などを水平・垂直両方向に約30%拡大します。上下に黒帯の入った映像で放送されている映画などを迫力の画面で楽しめます。
	映画2 シネスコサイズの映画などの両側を少し縮小し、画面一杯に拡大します。上下に黒い部分がなくなり迫力の画面で楽しめます。
	映画1字幕 字幕付のビスタサイズの映像に最適です。
	映画2字幕 字幕付のシネスコサイズの映像に最適です。 （お買い上げ時の画面位置は＋10に設定されています。）
	フル 横方向を圧縮して記録された映像（スクィーズ映像）を横方向に画面一杯まで拡大します。ハイビジョン番組を楽しむときなどに使います。

PC入力時	
	ノーマル 入力信号と同じアスペクト比になるように圧縮・拡大処理して表示します。 （入力信号が4：3のときは、表示も4：3表示）
	フル 入力信号の解像度、アスペクト比によらず縦、横一杯になるように圧縮・拡大処理して表示します。
	リアル 入力信号がVGA（640×480の解像度）の時だけ、入力信号の1画素をモニターの1画素に対応させて表示します。圧縮・拡大処理をしないため、くっきりした画像を表示します。

PC入力時のリアルモードを選んでいるとき、VGA（640×480の解像度）より解像度の高い信号が入力されると画面が自動的にフルモードに切り換わります。

ノーマルモードで長時間ご覧になると、中央の映像部分（両側の帯以外の部分）が焼き付く場合があります。
焼き付きを防ぐには、ノーマルモード以外のモードで使用することをおすすめします。
ノーマルモードでご覧になる場合には背景色をグレーに設定する 67 ことをおすすめします。
焼き付きが軽度のときは白パターンを表示する 67 、動画を映すことにより目立たなくなることがありますが、一度起こった焼き付きは完全には消えません。

メ モ

TV／BS・CS／ビデオ入力時のワイド機能の上手な使いかた

通常のテレビ放送

「ノーマル」

「スムーズ」にして楽しむ

上下に黒帯のある映像

「ノーマル」

「映画1」または「映画2」にして楽しむ

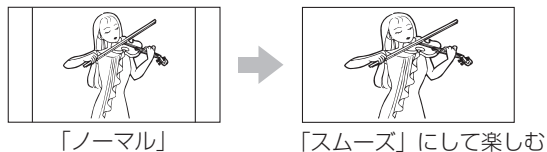
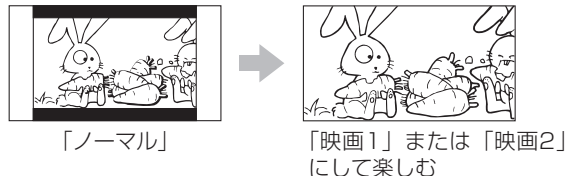
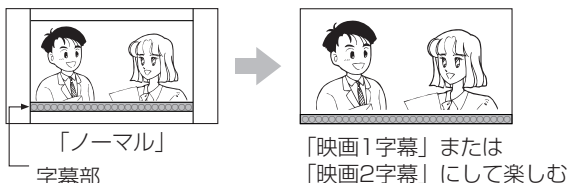
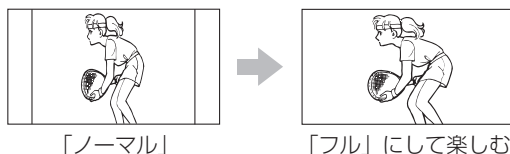
上下に黒帯があり字幕のある映像

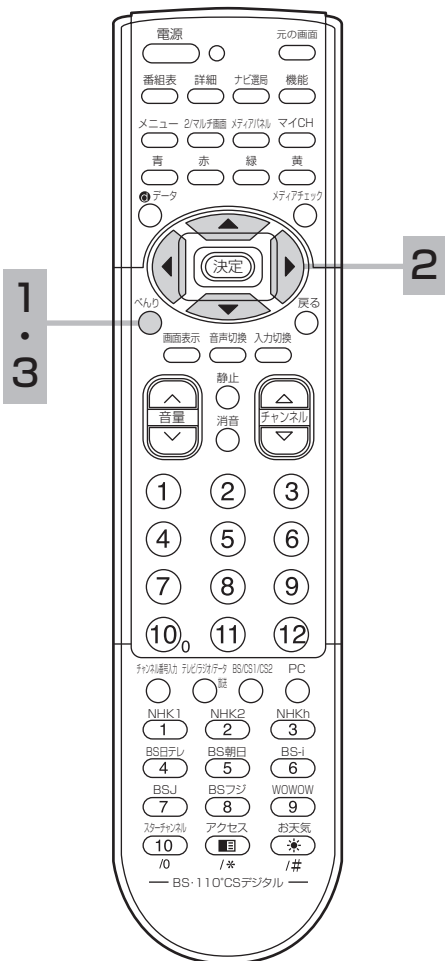
「ノーマル」
字幕部

「映画1字幕」または
「映画2字幕」にして楽しむ

スクィーズ映像(横圧縮映像)

「ノーマル」

「フル」にして楽しむ

画面位置を調節したいとき

「ノーマル」、「フル」、「リアル」（PC VGA入力時）以外のワイドモード時は、画面を上下に移動することができます。
「映画1」「映画2」モード時に字幕が消えてしまうようなときにお使いになると便利です。
●PC入力時の画面位置調節は 183 、184 をご覧ください。

1 べんりボタンを押す

べんり機能の設定画面（1ページ目）が表示されます。

2 で「画面位置」を選び、 でお好みの位置に調節する

べんり		ページ1／2
ワイド切換	：	映画１字幕
画面位置	◀	＋12 ▶
映像モード	：	スーパー
▼音声モード	：	スタンダード
選択 設定		戻る終了

スムーズ、映画1字幕は±12、映画1、映画2、映画2字幕は±31の範囲で画面位置調節ができます。

3 設定が終了したらべんりボタンを2回押す

元の画面ボタンを押しても設定画面が消えます。

お知らせ

- ●画面位置の設定は、一度電源を「切」にすると「0」に戻ります。
- ●BS・CSデジタル放送の1125i (1080i)ハイビジョン放送やビデオ4.5.6のコンポーネント入力端子に入力した1125i(1080i)信号をご覧になっているときは、画面位置を上方向に＋1まで微調することができます。画面上部の黒帯が気になる場合や、W-VHSビデオをご覧になる場合は、画面位置を＋1にします。
- ●BS・CSデジタル放送の525i(480i)、525P(480P)標準放送や、750P (720P)ハイビジョン放送をご覧のときは画面位置の調節はできません。

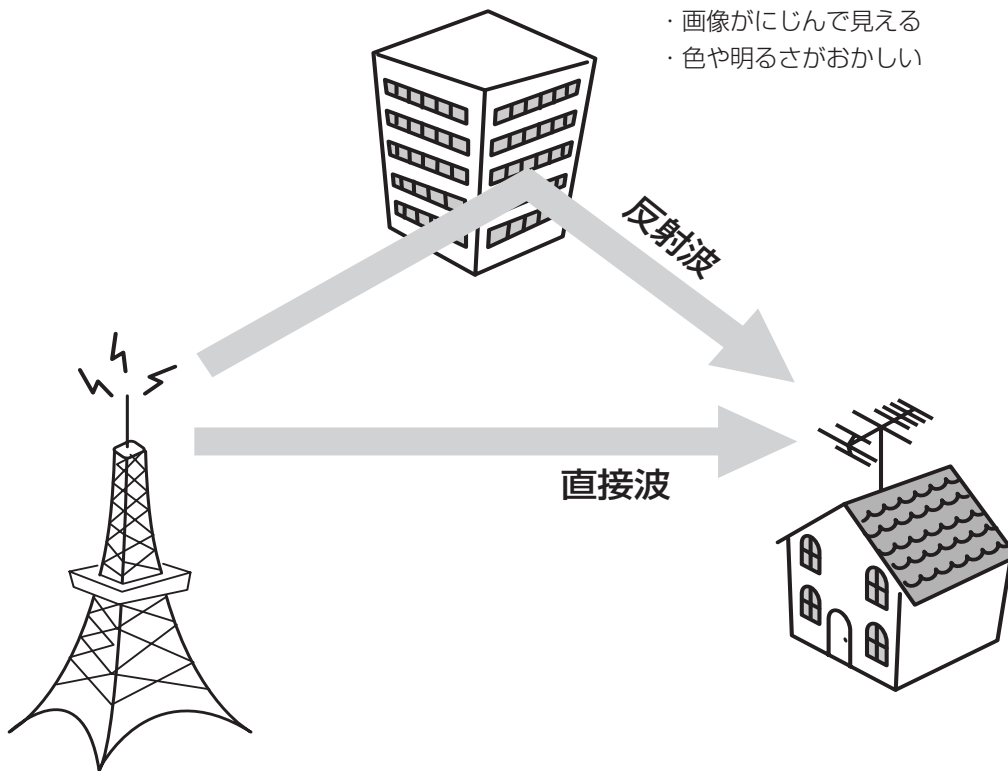
本機は、ゴースト妨害を低減するゴースト・リダクション・チューナー（GRT）を搭載しています。テレビ放送のゴースト妨害を低減した映像を楽しめます。

ゴースト妨害とは

放送局から直接到着する電波（直接波）と、高層ビルや山などに反射して少し遅れて到着する電波（反射波）を同時に受信すると、二重三重の画像になります。この現象をゴースト妨害といいます。

反射波によって、受信中の画像が次のように見えます。
・画像が二重三重に見える
・画像がにじんで見える
・色や明るさがおかしい

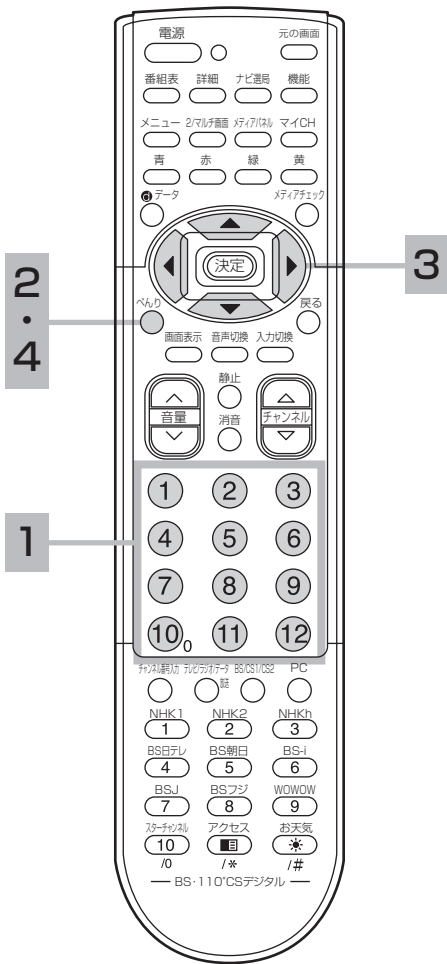
反射波

直接波

お知らせ

●ゴースト低減は、放送局から送られてくる信号の中にあるゴースト除去基準信号（GCR信号）に基づいて行います。このGCR信号がないときは、ゴーストは低減できません。
●ゴーストリダクションは、テレビ放送をご覧になっているときに働きます。BS・CSデジタル放送受信時、ビデオ入力、およびPC入力端子に入力した映像に対しては働きません。
●テレビ放送をご覧になっているときでも、次のような場合はゴーストリダクションが働かなかったり、ゴーストが残ることがあります。
・受信状態が良くないとき
UHF/VHFアンテナの向きが合っていない場合やアンテナ線の接続が正しくない場合など 122
・ゴースト妨害が大きいとき
・飛行機など動きのあるものに反射してゴーストが引き起こされたとき
・ゴーストの数が多いとき
●付属のRFケーブルをUHF/VHF混合アンテナ端子に接続する場合は、フェライトコアを巻き付けて接続することをおすすめします（123 をご覧ください）。よりきれいな信号を受信することができます。

ゴーストを低減したいとき

テレビ放送をご覧になっているとき、ゴーストが気になるときはGRT設定を行います。
GRT設定は、各チャンネルごとに設定することができます。
複数のチャンネルのGRT設定をまとめて行いたいときは、メニュー画面で設定することもできます。146

基本の使いかた

1 チャンネルボタンを押す

ゴーストが気になるチャンネルを選びます。

2 べんりボタンを2回押す

べんり機能の設定画面（2ページ目）が表示されます。

2回押す

3 で「GRT」を選び、でお好みに設定する

べんり		ページ2／2
▲TruBass	:	強
サラウンド	:	切
GRT	◀	入1 ▶
オフタイマー	:	切

選択 設定 戻る前画面

切 ↔ 入1 ↔ 入2

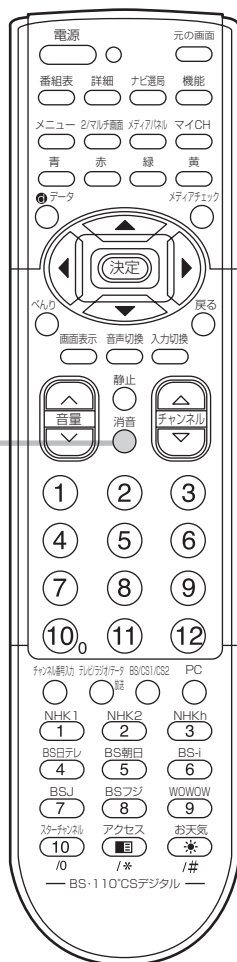
「入1」　：通常はこの位置で使用します。
　　　　　お買い上げ時は「入1」が設定されています。
「入2」　：「入1」でゴースト低減の効果が小さいときに選びます。
「切」　：ゴーストリダクション機能は働きません。
　　　　　「入1」や「入2」のときよりも「切」のほうが見やすいときは「切」にしてください。

4 設定が終了したらべんりボタンを押す

元の画面ボタンを押しても設定画面が消えます。

お知らせ

- ●ゴーストの無い地域では、GRT設定を「切」にしてお使いになることをおすすめします。
- ●ゴーストの状態によっては、「入1」または「入2」の設定でも、ゴーストが取り切れない場合があります。
- ●BS・CSデジタル放送またはビデオ入力、PC入力端子から入力した画面を見ているときのGRT設定は「－」と表示され設定することができません。
- ●チャンネル合わせ（地域番号）で地域番号を変更したり 134 、チャンネル合わせ（マニュアル）でチャンネル設定を変更する 142 と、GRT設定は自動的に「入1」が設定されます。必要に応じてもう一度設定してください。
- ●ゴースト低減された信号をモニター出力端子から出力することはできません。
- ●2／マルチ画面や静止画でご覧になっているときは、ゴーストリダクション機能は働きません。
- ●ゴーストリダクション機能は、テレビの電源を入れたとき、またはテレビチャンネルを選んだときに働きます。
- ●ゴーストリダクション機能が働くときに画面がガタつくことがありますが、故障ではありません。
- ●VHF/UHFアンテナの設置や調整を行うときは、GRT設定を「切」にするとゴーストの少ない方向を確認しやすくなります。
- ●ビデオのアンテナ出力を1chまたは2chにしてテレビと接続しているときは、GRT設定を「切」にしてください。

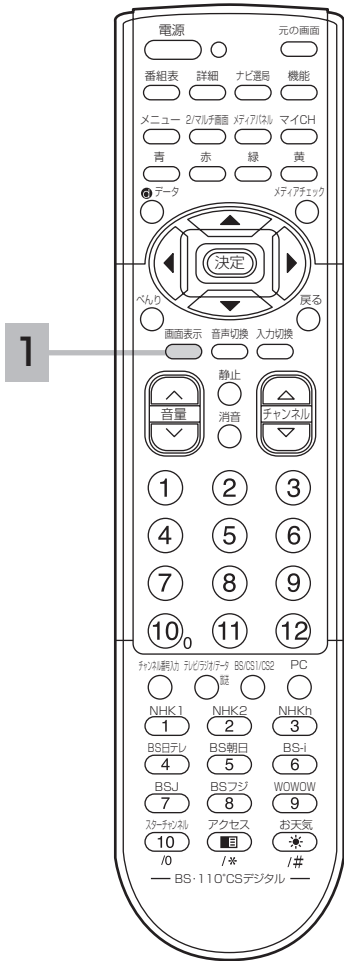
電話がかかってきたとき、来客のときなど便利です。

1 消音ボタンを押す

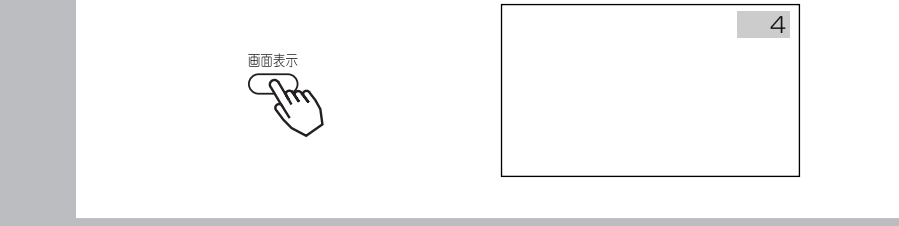
音が消えて、画面に図のような表示が出ます。
もう一度押すともとの音量に戻ります。

押した瞬間

メ モ

消音時でも小さな音を出しておきたいとき

- 消音ボタンを押したときに、完全に音を消さずに小さな音を出しておくことができます。
  ミュート音量の設定をしてください。48
- 消音にしたままでも音量 ∨ ボタンを押すことにより、音量の設定を変えることができます。音を出すときは、もう一度消音ボタンを押すか、音量 ∧ ボタンを押してください。

1 画面表示ボタンを押す

ご覧のチャンネルの番号が画面に表示されます。表示は約6秒で自動的に消えます。

ワイド マークについて

このマークは、ワイドクリアビジョン放送を識別した際に出るマークです。33

お知らせ

BS・CSデジタル放送のときは

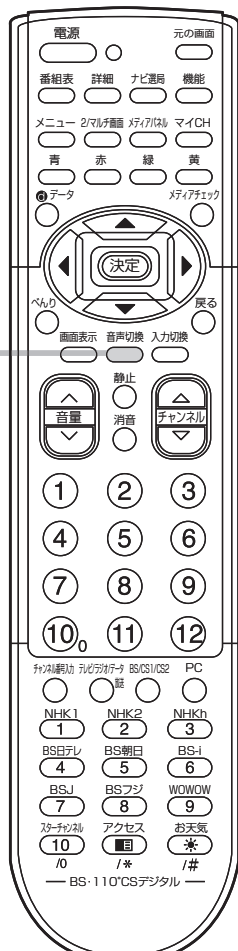
BS・CSデジタル放送のときは、番組タイトル、開始時刻、終了時刻などが表示されます。
詳しくは、「見ている番組のタイトルなどを表示する」83 をご覧ください。

ビデオのときは

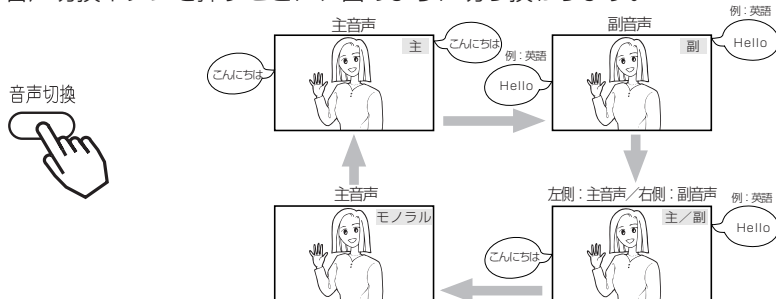
ビデオのときは、入力端子に接続した機器に合わせて表示を書き換えることもできます。70

画面表示

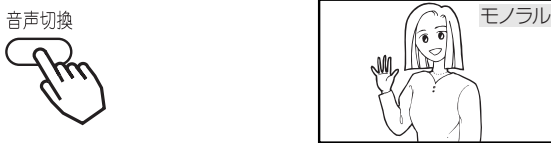
●テレビ放送のとき	●ビデオのとき	●PCのとき
4 モノラル放送時（緑で表示）	ビデオ1 ―ビデオ入力番号 ビデオ4，5，6にコンポーネント信号を入力したときは以下のように表示されます。 ビデオ4 コンポーネント1 ビデオ5 コンポーネント2 ビデオ6 コンポーネント3	PC ↓（3秒間） 水平（H）と垂直（V）の周波数を表示 例：H:48.4kHz,V:60.0Hz ↓（3秒間） 消える ●周波数表示を出さないようにすることもできます。自動周波数表示の設定をしてください。184
4 モノラル モノラル指定時（緑で表示）		
4 主 二重音声放送時（赤で表示） 例）主音声		
4 ステレオ放送時（黄で表示）		

二重音声放送およびステレオ放送のときには、2ヵ国語（二重）音声、ステレオ音声など音声内容を選ぶことができます。

二重音声放送のとき

1 音声切換ボタンを押す

音声切換ボタンを押すごとに、図のように切り換わります。

ステレオ放送のとき

ステレオ放送が始まると自動的にステレオ音声になります。
（「主」「副」「主／副」のいずれかに設定しているとき）

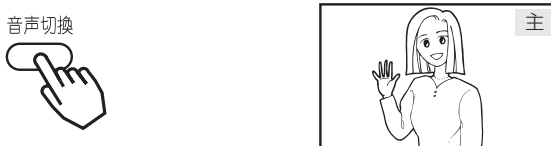
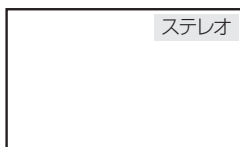
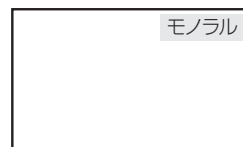
●テレビ放送時、電波が弱いとか雑音が多いなどステレオ音声が聞きづらいときは「モノラル」にすると聞きやすくなることがあります。

BS・CSデジタル放送の音声信号を切り換えるとき

二重音声の番組を見ているとき、お好みに合わせて聞きたい音声を選ぶことができます。

1 音声切換ボタンを押す

音声切換ボタンを押すごとに、図のように切り換わります。

●二重音声番組の場合

テレビ画面

●ステレオ番組のとき

ステレオ

●モノラル番組のとき

モノラル

お知らせ

●ステレオ番組やモノラル番組のときは、音声切換ボタンを押しても、音声は切り換わりません。

メモ

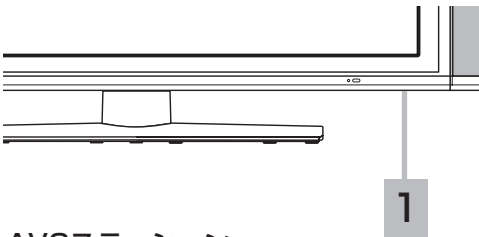
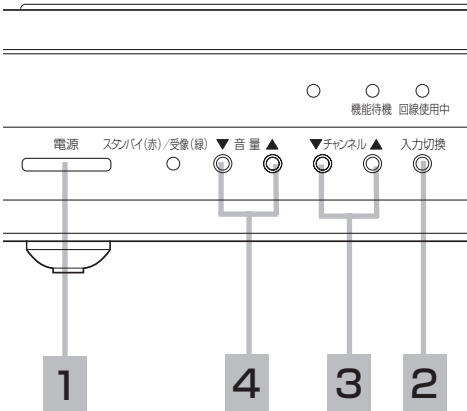
BS・CSデジタル放送の二重音声について

二重音声には2種類あります。

●ニヵ国語放送
主音声（日本語）と副音声（外国語）を選んで聞ける放送（主音声で外国語、副音声で日本語が送信されている場合もあります。）

●音声多重放送
主音声とは別の音声（副音声）を選んで聞ける放送

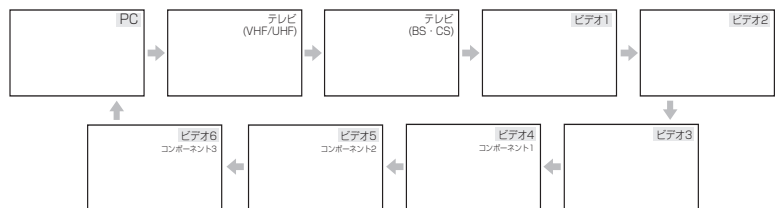
お手近にリモコンがないときは、本体での操作もできます。

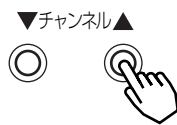
モニター

AVCステーション

1 電源を入れる

モニターの主電源を押してスタンバイ/受像ランプが赤く点灯している場合は、AVCステーションの電源ボタンを押すと電源が入り、スタンバイ/受像ランプが緑に点灯します。モニター後面の電源ボタンでも同様に電源を入れることができますが、このボタンはサービスマン用ですので通常使う必要はありません。電源を切るときは、もう一度主電源ボタンを押します。

スタンバイ/受像ランプが緑に点灯しているときに主電源ボタンを切にした場合、次に主電源ボタンを入にすると、電源が入りスタンバイ/受像ランプが緑に点灯します。

2 入力切換ボタンで「テレビ」を選ぶ

入力切換ボタンを押すごとに、図のように切り換わります。
（お買い上げ時）

3 チャンネルを選ぶ

ボタンを押すごとに、チャンネルを順逆送りで選局することができます。

BS・CSデジタル放送は選んだ番組によって、以降の操作が異なります。

●有料番組を選んだとき 94
●視聴制限の対象になる番組を選んだとき 107

4 音量を調節する

音量の大きさが数字と ▮▮▮▮▮▮▮▮▮...... で画面に表示されます。

《最小》　《最大》

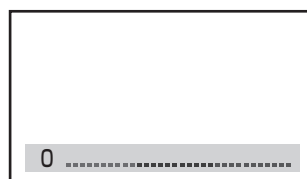
メモ

入力スキップ設定について

ご使用にならない入力端子がある場合、入力切換ボタンを押したとき飛越し（スキップ）させることができます。70

チャンネルアップダウン選局について

空きチャンネルの飛び越し選局の設定をすると、空きチャンネルを飛び越して放送されているチャンネルを早く選局することができます。

●テレビ放送のとき 148
●BS・CSデジタル放送のとき 160

設置場所や映像ソフトに合わせて「スーパー」、「ナチュラル」、「クリエイト」の3つからお好みの映像を選ぶことができます。

●映像の自動調整モードはテレビ放送、BS・CSデジタル放送、ビデオ入力の時にご使用できます。

映像モードの選びかた

1 べんりボタンを押す

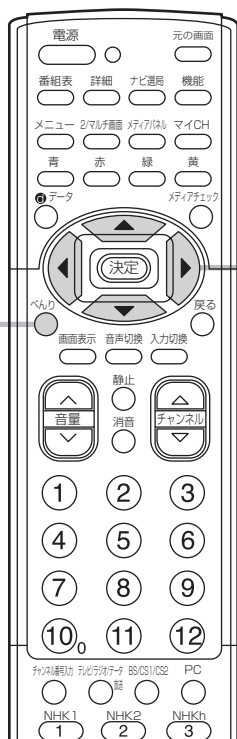
2 で「映像モード」を選び、でお好みのモードに設定する

べんり		ページ1／2
ワイド切換	:	スムーズ
画面位置	:	0
映像モード	◀	スーパー ▶
▼音声モード	:	スタンダード
選択 設定		戻る終了

モードは下図のように切り換わります。

スーパー ←→ ナチュラル ←→ クリエイト

3 設定が終了したらべんりボタンを2回を押す

元の画面ボタンを押しても設定画面が消えます。

メモ

●映像モードは、メニューの「映像設定」画面で選ぶこともできます。43

●PC入力をご覧になっているときは、映像モードの切り換えはできません。

各機能について

スーパー

●鮮明でコントラストのある画像に調整します。

●明るい部屋で、メリハリのある画像を楽しむときに適したモードです。

クリエイト

●黒補正、LTI、CTIなど、お好みに合わせてより細かな設定ができます。44 45

●お買い上げ時は、映画館のスクリーンを見るような感覚で映画を楽しむときや、電球色などの落ちついた照明を採用したリビングなどでの長時間視聴に適した設定となっています。

ナチュラル

●ご家庭で通常のテレビ番組、ビデオの再生などを楽しむときに適したモードです。

●お買い上げ時は、映像を白つぶれのない自然な明るさに自動調整するオートコントラスト機能が動作します（「コントラスト」44 オート)。

メモ

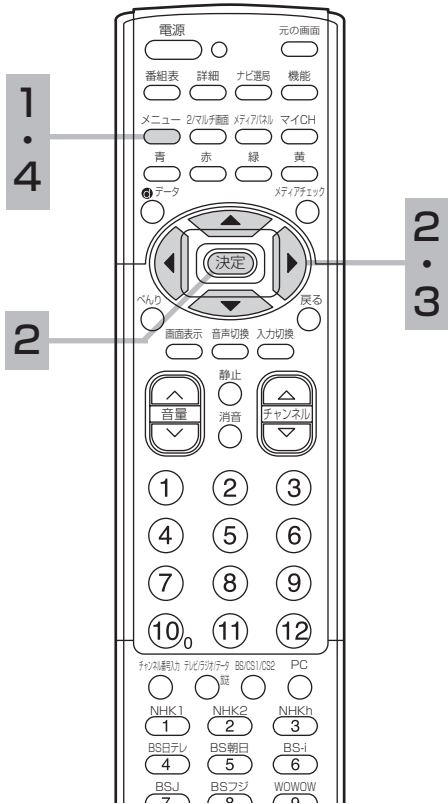
映像モードについて

●映像モードはテレビ放送やBS・CSデジタル放送、ビデオ1～ビデオ6の各入力モードごとに設定することができます。43

●各映像モードについて、明るさ、黒レベル、色の濃さ、色あい、画質、色温度は、お好みの画像に設定できます。

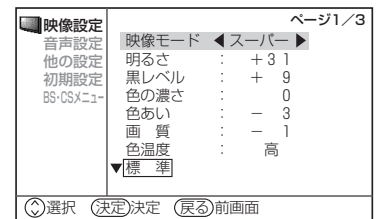
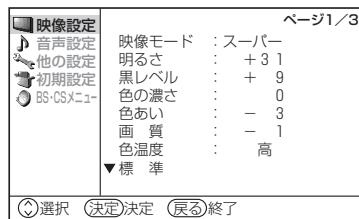
●ご家庭でご覧になる場合は、映像を自然な明るさに自動調整する「ナチュラル」をお勧めします。

映像モードごとにお好みに合わせて明るさ、黒レベル、色の濃さ、色あい、画質、色温度の設定ができます。

●PC入力時の映像設定は 182 をご覧ください。

明るさ、黒レベルなどの設定

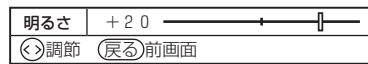
1 メニューボタンを押す

メニュー画面が現れます。

2 で「映像設定」を選び、決定ボタンを押す

3 で設定したい項目を選び、で調節する

（例）明るさを調節する場合

で調節します。戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。

明るさ	＋20
調節 戻る前画面	

映像設定 項目	◀	▶	設定のポイント
映像モード	スーパー←→ナチュラル←→クリエイト		設置場所や映像ソースに合わせて設定します。
明るさ	暗くなる	明るくなる	周囲の明るさに合わせて、見やすく
黒レベル	暗い部分がより暗くなる	暗い部分が明るめになる	黒髪の濃さに合わせて、見やすく
色の濃さ	色が淡くなる	色が濃くなる	お好みの濃さに（ややうす目の方が自然です。）
色あい	赤っぽくなる	緑っぽくなる	肌色がきれいに見えるように
画質	やわらかな画質になる	くっきりとした画質になる	ふだんは中央で柔らかい感じにしたいときには一側へ
色温度	オート←→低←→中←→高		「オート」は入力信号に応じて色温度が切り換ります。室内照明などによる影響から色調を補正するときは「高」「中」「低」のいずれかに設定します。
標準	―――		決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

●各映像設定項目は、テレビ放送やBS・CSデジタル放送、ビデオ1～ビデオ6の各入力モードごとに設定することができます。また、明るさ、黒レベル、色の濃さ、色あい、画質、色温度は映像モードごとに設定することができます。

4 設定が終了したらメニューボタンを押す

●元の画面ボタンを押しても設定画面が消えます。

●設定後は、チャンネル切り換えや電源を切っても記憶されます。

お知らせ

●明るさは、調節値が＋31のときに▶ボタンを押し続けると、＋32～＋40の範囲まで調節できるようになります。(このとき表示は赤紫色に変わります。) 暗い映像ソースをご覧になる場合に有効ですが、映像の明るい部分では階調が損なわれることがあります。通常、明るさは＋31までの範囲内でお使いください。

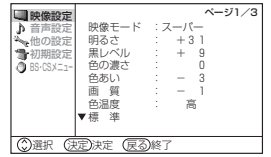
●ビデオ、ビデオディスクプレーヤー、テレビゲーム機器およびパーソナルコンピュータ等の静止した画像を長時間画面に表示しますとパネルに映像が焼き付く現象が出る場合があります。また、短時間でも静止した映像を表示するときは明るさおよび黒レベルの調節で画面を極力暗くしてご使用ください。焼き付きが軽度のときは、白パターンを表示する 66 、または動画を映すことにより、目立たなくなることがありますが、一度起こった焼き付きは完全には消えません。

さらにお好みの映像設定をしたいとき

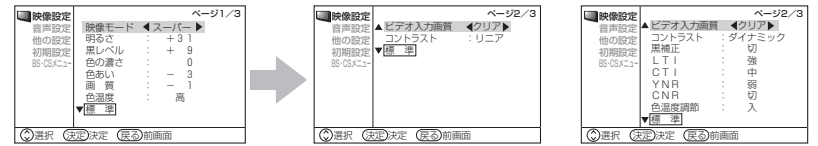
ビデオ入力画質、コントラストなどの設定

お好みに合わせてビデオ入力画質、コントラストの設定ができます。さらに映像モードで「クリエイト」を選んでいるときは、黒補正、LTI、CTI、YNR、CNR、色温度調節の設定ができます。

●この映像設定は、PC入力時ご使用になれません。

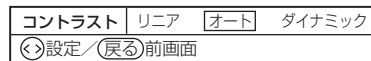
1 **メニューボタンを押し、（上下ボタン）で「映像設定」を選び、決定ボタンを押す**

2 **（上下ボタン）で2ページ目の「映像設定」を表示させる**

映像モード スーパー、ナチュラルのとき

映像モード クリエイトのとき

3 **（上下ボタン）で設定したい項目を選び、（左右ボタン）で選択する**

（例）コントラストを設定する場合

（左右ボタン）で設定します。戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。

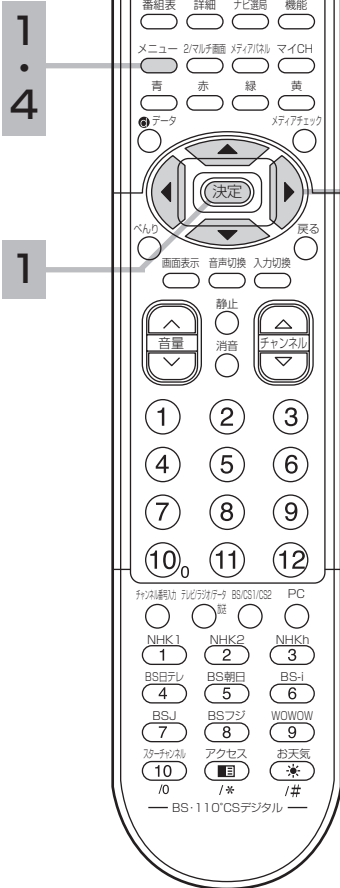
コントラスト	リニア	オート	ダイナミック
⟨⟩設定／（戻る）前画面			

映像設定 項目	（左右ボタン）	設定のポイント
ビデオ入力画質	クリア↔標準	ビデオ、DVDなどで映像がギラギラしたり、ノイズが目立つ場合は「クリア」にします。通常は「標準」でご使用ください。
コントラスト	リニア↔オート↔ダイナミック	「リニア」：映像の階調をできるだけ忠実に再現します。「オート」：映像の明るい部分を検知して白つぶれのない自然な明るさに自動調節します。「ダイナミック」：映像の階調にメリハリを付けて、コントラスト感を向上させます。
黒補正	切↔弱↔中↔強	黒レベル補正を調節できます。
LTI	切↔弱↔中↔強	輝度信号の鮮鋭度を調節できます。
CTI	切↔弱↔中↔強	色信号の鮮鋭度を調節できます。
YNR	切↔弱↔強	輝度信号のノイズリダクションです。強くするとノイズが目立たなくなります。
CNR	切↔弱↔強	色信号のノイズリダクションです。強くするとノイズが目立たなくなります。
色温度調節	切↔入	色温度調節機能の入／切を選択します。「入」のときはお好みに合わせて色温度を調節できます。45
標準	——	決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

●テレビ放送や、BS・CSデジタル放送、ビデオ1～ビデオ6の各入力モードごとに設定することができます。

●黒補正、LTI、CTI、YNR、CNR、色温度調節は、映像モードの設定が「クリエイト」のときに設定できます。

4 **設定が終了したらメニューボタンを押す**

●元の画面ボタンを押しても設定画面が消えます。

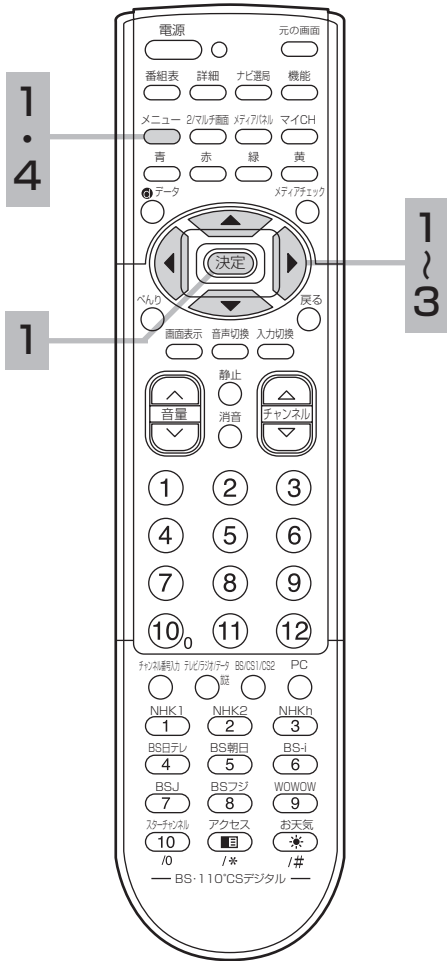
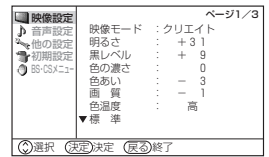
●設定後は、チャンネル切換や電源を切っても記憶されます。

メモ

ビデオ入力画質について

テレビ放送やBS・CSデジタル放送をご覧になっているときは設定できません。

色温度の調節

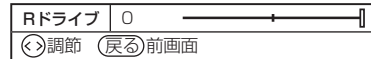
映像モードで「クリエイト」を選んで色温度調節「入」44 のときは、お好みに合わせて色温度を調節することができます。

●この色温度調節はPC入力時ご使用になれません。

1 メニューボタンを押し、で「映像設定」を選び、決定ボタンを押す

2 で「色温度調節」画面を表示させる

●色温度調節画面は、2ページ目と3ページ目の間に表示されます。

3 で設定したい項目を選び、で選択する

（例）Rドライブを調節する場合

で調節します。戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。

Rドライブ	0
調節　戻る 前画面	

映像設定 項目				調節のポイント
Rドライブ	明るい部分の赤がおさえられる	−63↔0	調節しない	明るい部分の色調をお好みに合わせて調節します。
Gドライブ	明るい部分の緑がおさえられる	−63↔0	調節しない	
Bドライブ	明るい部分の青がおさえられる	−63↔0	調節しない	
Rカットオフ	暗い部分の赤がおさえられる	−31↔ +31	暗い部分が赤っぽくなる	暗い部分の色調をお好みに合わせて調節します。
Gカットオフ	暗い部分の緑がおさえられる	−31↔ +31	暗い部分が緑っぽくなる	
Bカットオフ	暗い部分の青がおさえられる	−31↔ +31	暗い部分が青っぽくなる	
標準		——		決定ボタンを押すと、調節量が0に戻ります。

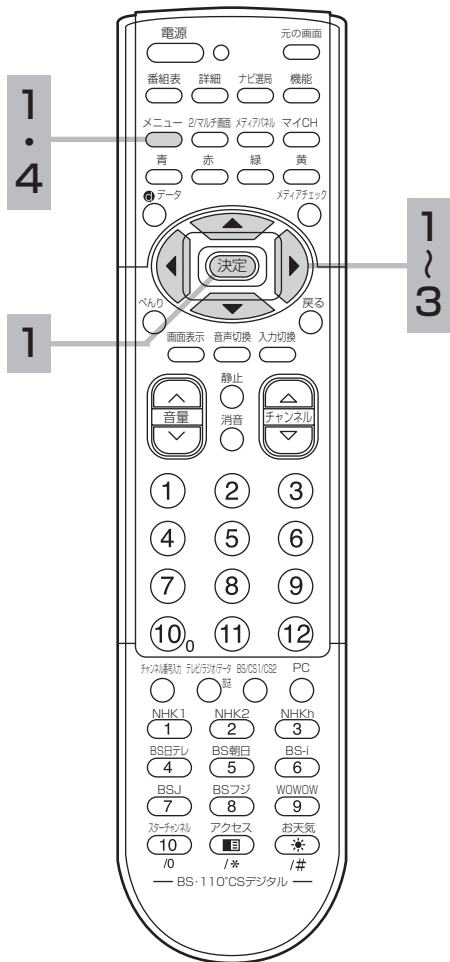
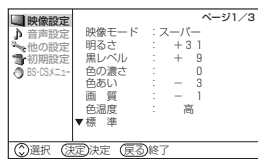
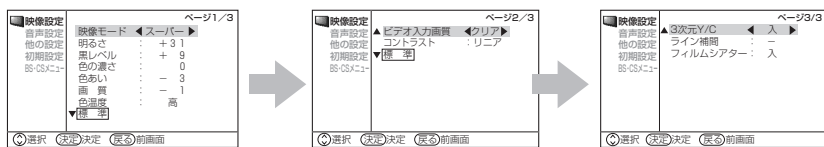
●色温度調節は 43 で選んだ色温度「高、中、低」のモード毎に調節できます。

4 設定が終了したらメニューボタンを押す

●元の画面ボタンを押しても設定画面が消えます。
●設定後は、チャンネル切換や電源を切っても記憶されます。

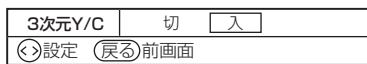
3次元Y/C、ライン補間などの設定

ご覧になる映像ソースに合わせて、3次元Y/C、ライン補間、フィルムシアターの設定ができます。

●この設定をPC入力時に使用することはできません。

1 メニューボタンを押し、で「映像設定」を選び、決定ボタンを押す

2 で3ページ目の「映像設定」を表示させる

●映像モードが「クリエイト」で色温度調節「入」のとき 44 、3ページ目の映像設定は、色温度調節画面の次に表示されます。

3 で設定したい項目を選び、で選択する

（例）3次元Y/Cを設定する場合

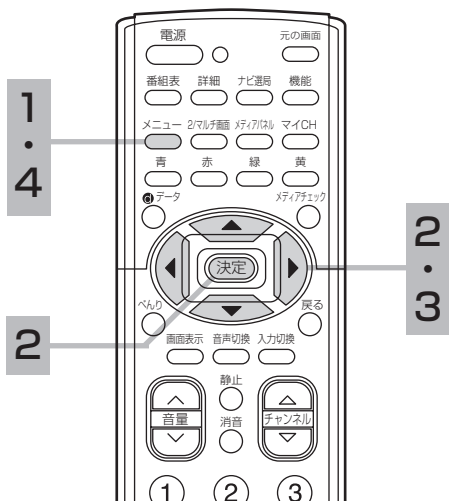
で調節します。戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。

3次元Y/C	切 入
設定 戻る 前画面	

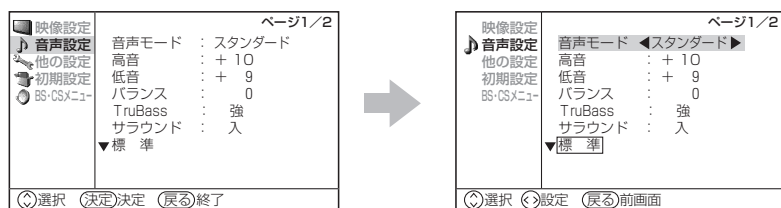
映像設定 項目		調節のポイント
3次元Y/C	切↔入	ビデオなどの映像が自然に見えないときは「切」にします。通常は「入」でご使用ください。
ライン補間	切↔入	「入」：立体ビデオディスクをご使用の場合に設定します。一度電源を切ると「切」になります。 「切」：通常
フィルムシアター	切↔入	「入」：映画フィルム素材を自動的に検知して、元のフィルム映像に忠実に再現します。通常は「入」でご使用ください。 「切」：映像の切替り時が自然に見えないときは「切」にします。

●映像設定は、テレビ放送やBS・CSデジタル放送、ビデオ1～ビデオ6の各入力モード毎に設定することができます。

4 設定が終了したらメニューボタンを押す

●元の画面ボタンを押しても設定画面が消えます。
●3次元Y/C、フィルムシアターの設定は、チャンネル切り換えや電源を切っても記憶されます。

TruBassは人間の聴覚が2つの音の差成分の音（周波数）を強く認識することを利用し、実際には再生されていない周波数の低音（差成分）が聞こえているように体験できる再生システムです。
また、音声モード、高音、低音、バランス、サラウンドなどの設定ができます。

1 メニューボタンを押す

2 で「音声設定」を選び、決定ボタンを押す

3 で設定したい項目を選び、で選択、または調節する

音声設定 項目		設定のポイント
音声モード	スタンダード ⟷ ミュージック ⟷ スポーツ ⟷ シアター	映像ソースに合わせて設定します。
高　音	高音がおさえられる⟷高音が強調される	高音、低音、バランスはそれぞれ－10～＋10までの設定ができます。お好みに合わせて設定してください。一度設定すると、そのまま記憶されます。
低　音	低音がおさえられる⟷低音が強調される	
バランス	左スピーカーの音が強調される（－） ⟷ 右スピーカーの音が強調される（＋）	
TruBass	切⟷弱⟷中⟷強	低音を強調する効果量を調節できます。お好みの設定にします。
サラウンド	切 ⟷ 入	「入」にすると、臨場感のある音声を再生することができます。
標　準	——	決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

4 設定が終了したらメニューボタンを押す

元の画面ボタンを押しても設定画面が消えます。

お知らせ

- ●音声モードおよびTruBassとサラウンドは、べんり機能で設定することもできます。49
- ●音量が大きいときにTruBassにより低音が歪む場合があります。その場合にはTruBassの効果を弱めてください。
- ●サブウーハーをご使用になる場合にはTruBassの設定を「切」にすることを推奨します。

メ モ

音声設定の効果について

●TruBass

TruBassの効果を切換えることにより、映画の臨場感、音楽のハーモニー感など好みの設定を選択することができます。

●サラウンド：入

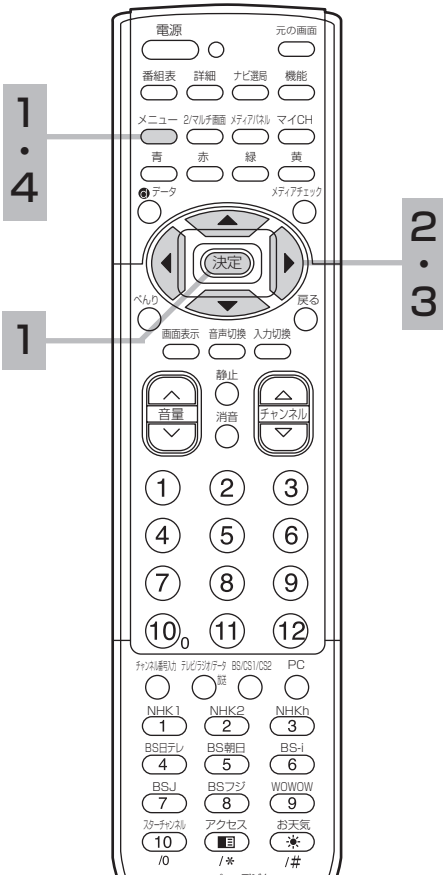
臨場感のある音声を楽しむことができます。ビデオ入力、PC入力のモノラル音声のときは、サラウンドの効果はありません。ステレオ放送で雑音が多いとき、サラウンドを「入」にすると雑音が強調されて聞こえる場合があります。このようなときには音声設定で高音を－側にするか、またはサラウンドを「切」にしてください。また二重音声放送で音声切換が「主／副」のとき 40 違和感を感じるときは音声切換を「主」または「副」にするか、サラウンドを「切」にしてください。
BS・CSデジタル放送は、TruSurround出力の設定 113 が優先されます。

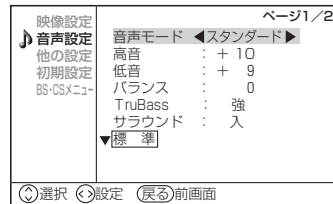
音声モードのお買い上げ時の設定について

- ●ミュージックは高音、低音を強調しており、音楽放送に適しています。
- ●シアターは中音を強調した設定になっており、映画放送に適しています。
- ●スポーツは高音を強調した設定になっており、スポーツ番組に適しています。

音声モードについて

各音声モードについて、高音、低音、バランス、TruBass、サラウンドはお好みの音声に設定できます。

ステレオミュート（コマーシャル音などを小さくする）、ミュート音量（消音時の音量調節）、ヘッドホン音量などの設定ができます。

1 メニューボタンを押し、 で「音声設定」を選び、決定ボタンを押す

2 で2ページ目の「音声設定」を表示させる

3 で設定したい項目を選び、 で選択、または調節する

音声設定 項目		設定のポイント
ステレオミュート	切⟷入	「入」にすると、テレビ放送のコマーシャル音（ステレオ放送）などを小さくすることができます。
ミュート音量	音量が小さくなる⟷音量が大きくなる 最小〔0〕 最大はミュート前の音量	消音ボタンを押したときの音量が変わります。 38
ヘッドホン音量	音量が小さくなる⟷音量が大きくなる 最小〔0〕 最大〔63〕	お好みの音量に合わせます。

4 設定が終了したらメニューボタンを押す

元の画面ボタンを押しても設定画面が消えます。

メ モ

音声設定の効果について

●ステレオミュート：入

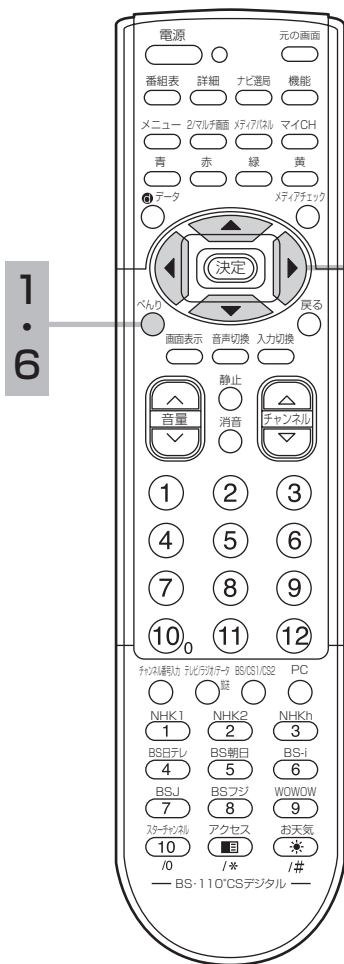
テレビ放送のドラマや映画番組の途中で入るコマーシャル（ステレオの場合）音を小さくすることができます。ただし、ステレオ放送の番組の場合、番組の音も小さくなります。

●ミュート音量

消音ボタンを押したときに、完全に音を消さずに小さな音を出しておくことができます。

●ヘッドホン音量

ヘッドホンの音量を調節できます。
ヘッドホンを差し込んでもスピーカーの音は消えません。
スピーカーからの音を小さくしたいときは、音量ボタンで調節してください。

音声モードとTruBass、サラウンドは、べんり機能でも設定することができます。

1 べんりボタンを押す

PC入力をご覧になっているときは、べんりボタンを2回押してください。

2 で「音声モード」を選び、でお好みのモードに設定する

3 で2ページ目の「べんり」画面を表示させる

4 で「TruBass」を選び、でお好みの設定にする

5 で「サラウンド」を選び、でお好みの設定にする

6 設定が終了したらべんりボタンを2回を押す

●元の画面ボタンを押しても設定画面が消えます。